



Mie University Internship Report

三重大学におけるインターンシップ

— 多様な取組の紹介 —

インターンシップの取り組み強化と三重大学

三重大学は美しい自然に恵まれたキャンパスで、社会のリーダーとなるグローバル人材の育成、独創的で自由な発想に基づく研究が活発に行われています。総合大学として、逞しい人材を地域社会に輩出し、優れた研究成果を発信する地域における「知」の拠点としての役目を担っています。建学以来の伝統と実績に基づき、「三重の力を世界へ：地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～」を基本的な目標として掲げ、地域社会や住民の皆様との緊密な連携をとりつつ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域・国際社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」に取り組んでいます。

現在、「三重大学機能強化構想」の一つの戦略として「地域人材育成と若者を地域に止め置く機能の強化」を掲げ、地域で活躍する人材育成のための産学官協働による教育開発・支援体制の構築に向けて取り組みを開始しております。具体的

には、①若者を地域に止め置く機能の強化、②地方創生に資するとともに国際通用性を備えた地域人材の育成機能の強化、③地域のニーズを満たす地域人材育成を支える学修成果の質保証システムの構築、を進めていきます。その際、重要な位置づけを持つインターンシップについては、平成33年度までに卒業要件化を行う方針を掲げ、機能強化に向けた取り組みを強化しています。

地域の皆様、企業の方々に信頼され頼りにされる大学を目指し、地域社会を活性化するため、精一杯の努力をして行きたいと思います。今後とも、ご協力、ご支援をいただきますようお願いいたします。と同時に、学生のみなさんの成長を促すための取り組みとして、三重大学ではインターンシップを最重要課題と位置づけ、強化していきます。ぜひともご協力を賜りたいと存じます。学生のみなさんは、ぜひとも積極的にインターンシップにチャレンジしてみてください。



三重大学長
駒田 美弘

三重大学における教育的インターンシップ
— 多様な取組の紹介 —

CONTENTS

はじめに・学長挨拶	2
インターンシップ：事例紹介	5
インターンシップ：研修・実習 グループ報告	45
インターンシップについてのご案内	57
インターンシップ各種研修会について	58

三重大大学における インターンシップの 取組強化の位置づけ

インターンシップとは？

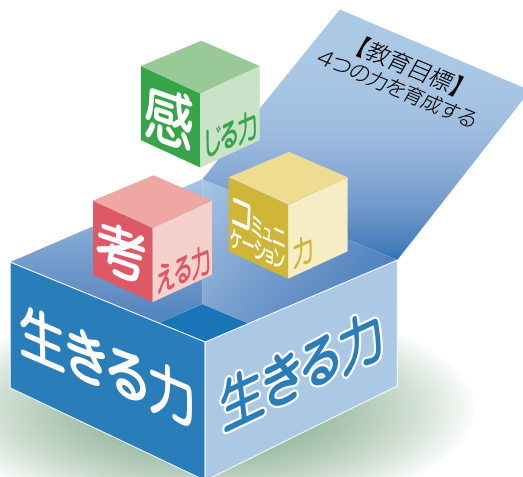
大学におけるインターンシップの意義

「大学等におけるインターンシップは、大学等での学修と社会での経験を結びつけることで、学生の学修の深化や新たな学習意欲の喚起につながるとともに、学生が自己の職業適性や将来設計について考える機会となり、主体的な職業選択や高い職業意識の育成が図られ、教育効果を高める取組である」（「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」平成26年4月8日一部改正 文科省・厚労省・経産省より）

インターンシップとは大学における教育の質保証の重要な要素であり、大学および各学部・学科が掲げるディプロマ・ポリシーに沿った教育実践の一環として活用されるものです。

三重大大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

三重大大学は、幅広い教養の基礎に立った高度な専門知識や技術を有し、地域のイノベーションを推進できる人財を育成するために、「4つの力」、すなわち「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、それらを総合した「生きる力」を養成します。各学部・各研究科は、「4つの力」の養成をその専門性に適合させることによってより詳細な目標を設定し、厳格な成績評価に基づいて学位を授与します。



■ 感じる力

感性、共感、倫理観、モチベーション、主体的学習力、心身の健康に対する意識

■ 考える力

幅広い教養、専門知識・技術、論理的思考力、批判的思考力、課題探究力、問題解決力

■ 生きる力

感じる力、考える力、コミュニケーション力を総合した力

■ コミュニケーション力

情報受発信力、討論・対話力、指導力、協調性、社会人としての態度、実践外国語力

三重大大学におけるインターンシップ

学生が自らの専門研究を進めていく中で、将来の進路も念頭に置きながら社会的実践を通じて身につけるべき能力を理解・確認し、さらに学修意欲の向上に結び付くような主体的なもの、それこそが本来のインターンシップです。三重大大学ではこうした観点から、インターンシップを卒業要件化する方向で準備に入っています。学生の成長こそが、結果的に地域社会、受け入れ側の利益にもつながることを理解して頂き、ぜひともご協力をお願いいたします。

また、学生みなさんも積極的にインターンシップに参加して、自らの学修の深化や新たな学習意欲の喚起につなげるとともに、主体的な職業選択ができるよう能力形成を進めていただきたいと思います。

三重大学における 教育的インターンシップの 多様な形態

三重大学における インターンシップの定義(位置づけ) ＝教育的インターンシップ

「三重大学が進めるインターンシップは、大学教育の一環として取り組まれるものである。大学での学修と社会組織での実習・経験を結びつけることで、学生の学修を深化させ、新たな学習の意欲を喚起させるとともに、学生に自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供するものである。インターンシップの取組自体は教育の質保証の重要な要素であり、三重大学および各学部・学科が掲げるディプロマ・ポリシーに沿った教育実践の一環として活用されるものであり、全ての学生が何らかの形で参加するものである。学生の多様な進路をふまえ、インターンシップを狭い意味での就業体験とは捉えず、多様な社会的実践の取組を含むものとして位置づける。なお、単位認定の有無は問わず、部局で認めたもの全てを含むものとする。」

左記の定義(位置づけ)に見られるように、
三重大学が進める教育的インターンシップには
多様な形態が考えられます。
現在、各学部・学科等で検討中ですが、
これまでの取組みから考えられる
多様な形態について簡単にご紹介しましょう。

インターンシップ先による多様性

まず、これまでも行ってきたキャリア支援センターや三重県経営者協会等が仲介するもので、インターンシップ先としては、民間企業や官公庁、各種団体・NPO法人などがあります。これらに加えて、医学研修先、教育実習先および博物館実習先なども加えることが可能となります。さらに、学部・学科で十分に議論した上で、将来進路と関わった社会的実践活動等を行う先についても今後加えることが可能となります。

インターンシップの単位化の有無

三重大学では教養教育、および幾つかの学部ですでに単位化されたインターンシップ科目が存在します。今後も可能であれば、インターンシップの単位化を進めていきますが、まずは教育的な内容が充実したインターンシップのコンテンツを確保することに重点を置いていきたいと思います。

インターンシップの実施時期および期間等

一般的にインターンシップの実施時期については、長期休暇中に行われることとなっていますが、三重大学では、受入先企業・団体等とも調整して、学期期間中にも実施される多様な形態を検討しています。例えば、週1回で5週間(または10週間)実施したりするものなどです。なお、実施期間については、インターンシップのコンテンツ等を勘案し、一律的には規定しない方向で検討しています。

その他

有給インターンシップ、長期インターンシップなど多様なインターンシップが各種団体で取り組まれています。三重大学では、学生が主体的にこうしたインターンシップに参加した場合、内容を調査した上で、卒業要件として認めていく方向で検討しています。ただし、教育実践の観点からいわゆるアルバイトは卒業要件としては認めない方向で検討しています。



— 事例紹介

株式会社金星堂	6
株式会社東海テクノ	7
ミキモト真珠島真珠博物館	8
大同特殊鋼株式会社	9
株式会社三鈴エリー(三菱ケミカルエンジニアリンググループ)	10
三重県工業研究所	11
株式会社ソフィックス	12
株式会社ビーイング	13
東海農政局 新濃尾農地防災事業所	14
万協製薬株式会社	15
ヤマモリ株式会社	16
有限会社二軒茶屋餅角屋本店	17
株式会社横山食品	18
株式会社マスヤ	19
株式会社百五銀行	20
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	21
全国農業協同組合連合会 三重県本部	22
日本トランスシティ株式会社	23
株式会社ZTV	24
三重交通株式会社	25
株式会社啓愛義肢材料販売所	26
株式会社東海理化	27
尾鷲物産株式会社	28
寒紅梅酒造株式会社	29
エバ工業株式会社	30
株式会社ノリタケカンパニーリミテド	31
国立大学法人三重大学学務部就職支援チーム	32
津市商工観光部	33
三重県総務部行財政改革推進課	34
愛知県建設部建築局公営住宅課	35
三重県県土整備部建築開発課・営繕課	36
林野庁 近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所	37
津市環境部	38
三重県農林水産部フードイノベーション課	39
中山農園	40
公益財団法人三重県労働福祉協会(おしごと広場みえ)	41
公益財団法人三重県文化振興事業団	42
NPO法人体験ひろばこどもスペース四日市	43
北伊勢上野信用金庫	44

人文学部 文化学科 1年 / 女性

教養教育(キャリア教育):インターンシップ入門



Acceptance company
and group

株式会社金星堂

専門・技術サービス業

theme

- ・受注・製作・施工・請求までの流れを学ぶ
- ・SNSを使ったPR方法を提案する

Outline of practical training

〈サイン工房〉看板用シールシートのカッティング、看板用シールシートの文字部分以外のシール切り離し、シートの切り文字をきれいに転写するためにリタックシートを貼る。

〈統括部〉Excelを使って会社の入出金の詳細を記録(預け入れ、引出し、振り込み)、LINE@を活用した販売促進の検討・報告、スキャナーの使い方、社内メールの作成方法、法務局での手続き

〈中部営業〉オープン予定の薬局に実際出向いて職人と共に作業、イオンタウンに出向き新設のコインランドリーの看板などの打ち合わせに同行

comment

〇〇さんには、インターンシップで受注・製作・施工・請求までの流れ、および、「LINE@を使って金星堂を多くの方に知ってもらう」という課題に取り組んでもらいました。苦労をしながらも、PR方法など分かりやすい報告書を提出していただきました。このインターンシップ経験が、〇〇さんの将来に役に立てれば幸いです。私たち企業もインターンシップを受け入れることにより、若い社員への指導方法を学んでいくよい機会になっています。今後もこのようなかたちで、学生の方たちと関わりたいと思っています。



実習中に得られたこと

今回私がインターンシップを通して学んだことは集中力です。正直なところ、今回のインターンシップを経て、仕事ってこんなに長いんだ、大変だなと感じた事も多々ありました。途中、眠くなってしまったりした時もありました。これは私の反省点だとも感じています。その中で、会社の方々はより良いものを作るために驚くほどの集中力で仕事に取り組んでいらっやいて自分にはまだ集中力という力の不足を感じました。また、よりよいものを作りたいという思いはプロ意識にもつながってくと感じています。今回少し会社の会議に参加させていただいたのですが、新しく商品を作り出すために真剣に話し合っていて仕事に対しての熱意を感じました。

実習を経て新たに発見できたこと

10日間仕事をするなかで社長と何度かお話しさせていただく機会がありました。そのなかで「時間はお金だ」という言葉が印象に残っています。これは私がコピーをとっていたときの事なのですが、必要以上に丁寧にやっていた私に対して「仕事をやる上で時には効率的に素早くやることも大事。当たり前だけれど働いた時間がお金になるわけだから、その限られた時間の中でどれだけ自分がよいものを残せるかはすごく大事。」というお言葉をいただきました。そこで自分を振り返った際に、私は前からやるのが遅い傾向にあったのでこの言葉を忘れずこれからに活かしたいと思いました。

■ 実習スケジュール

実習期間:2016年8月22日(月)~9月2日(金)
実習日数:10日間 実習地:三重県

	AM	PM
1日目 (サイン工房)	朝礼の挨拶、工房で文字プレートの切り抜き	文字プレートの切り抜き、クライアント向け看板シール作成
2日目	クライアント向け看板シール作成、文字作り	会議参加、クライアント向け看板シール作成、文字作り
3日目	総務・経理業務	総務・経理業務
4日目	総務・経理業務	総務・経理業務
5日目	総務・経理業務、メールの書き方	LINE@を活用した販売促進方法の提案(社長向け)
6日目	LINE@を活用した販売促進方法のレポート作成	総務・経理業務
7日目 (サイン工房)	クライアント向け看板シール作成	クライアント訪問、施工現場見学
8日目	クライアント向け看板シール作成	クライアント向け看板シール作成
9日目 (営業部門)	営業パーソンと同行、施工現場見学	営業パーソンと同行、施工現場見学
10日目	営業パーソンと同行、営業現場体験	営業パーソンと同行、施工現場見学

工学部 分子素材工学科 2年 / 男性

教養教育(キャリア教育):インターンシップ入門



Acceptance company
and group

株式会社東海テクノ

専門・技術サービス業



theme

環境分析の実際

安全管理

試料の採取

前処理

機器分析

Outline of practical training

CODCrの分析方法、化学反応の説明、導入試験の実施。イオンクロマトの仕組み、菌分析の種類に関する説明、実分析。試料サンプリングの方法、固定方法の説明、採水。臭気分析。

comment

当社で学び体験していただいた環境分析における試料の採取や前処理、機器分析は、大変ニッチな世界です。技術や知識そのものは他の業界で活かす機会、あまりないかもしれません。しかし、精度管理や品質管理の取り組み、あるいは、発想法に関しては、ぜひ応用し活用していただければと考えております。今回のインターンシップ同様に、真剣にまた好奇心を持って取り組む姿勢を大事にいただき、社会に出てからも大切に育んでいただけることを期待しております。

実習中に得られたこと

インターンシップでコミュニケーション力の定義が自分の中で変わった。学生の言うコミyuカと社会でのコミュニケーション力は違う。むやみに話しかけて接触する回数を増やし、心理的に近づくといった友達間のコミュニケーションではなく、まず仕事そのものにきちんと向き合う必要があると感じた。それ自体が一種のコミュニケーション力であると思う。仕事量をしっかりこなし、かつ相手が置かれている状況(抱えている仕事量、忙しさの度合い)を把握して、自分の行動を選択しなければならない。

実習を経て新たに発見できたこと

実際に社員の方と話す機会を得ることで、社会人目線のアドバイスを聞くことができたなど、学生の友達関係と違い、ドライだけれども密な人間関係を築く必要性に気付けた。社会では、個々人の力とチームプレーどちらも大切。社会に対するイメージがより鮮明になった。また、英語で書かれた分析方法が読めずに苦労した等、専門性を強化する必要性も感じた。分析系の仕事の今後の方向性やビジネスモデルなどを自分の肌で感じることできたため、自分に合っている職種を意識する良い機会になった。

実習スケジュール

実習期間:2016年8月22日(月)~9月2日(金)
実習日数:10日間 実習地:三重県

	AM	PM
東海テクノの業務内容、安全教育、水質検査の概要、滅菌する装置の使用法	2週間のスケジュール、三点式臭袋法で臭気判定	
シャーレの中のビーズに吸着した大気を水に保臭する	CODCrの試薬作り、浄化槽のサンプルをバイアルに詰める作業	
CODCrの測定	バイアル詰め、ボトルのシールはがし	
分光光度計にかけて濃度を測定	水の味・臭気を測定する検査	
CODCrの再測定	研究開発部門を見学	
CODCr EPA Methodを実行、大腸菌群数試験	KY会議(月1回実施)に参加	
採水場に行き、サンプルを回収	水質分析	
CODCr、バイアル詰め	研究作業の見学、CODCr、ボトルのシールはがし	
イオンクロマトの説明と実分析	研究の手伝い	
データ作成作業	データ作成作業	

生物資源学部 生物圏生命化学科 1年 / 男性

教養教育(現代社会理解実践):環境インターンシップ



Acceptance company
and group

ミキモト真珠島 真珠博物館

観光サービス業

theme

- ・真珠ワークブックの配布や
その解説
- ・真珠貝の種類、特徴及び
真珠のできる仕組みの説明
- ・貝リングのご紹介 など

comment

夏休みシーズンで小中学生連れのお客様も多かったが、年齢に合わせたわかりやすい言葉でしっかりと説明することができていた。お客様の人数に応じて、持ち場をその都度臨機応変に移動することもしっかりできた。自主学習も積極的に行っており、また、わからないことがあったときは直ぐにスタッフに質問していた。お客様に楽しんでいただく観光施設であるが、働く側も楽しんで仕事をするこの大切さを学んでいたと思った。



実習中に得られたこと

インターンシップでは博物館に来たお客様に、ブースの説明などを行っていたので、人と接する機会がたくさんありました。そこでは、子供からお年寄りまで国内外から訪れた様々な人と出会い、会話することの楽しさを得ることができました。また、私達の説明が伝わり内容を理解してもらえたときには、何にも代えることのできない達成感を感じました。仕事をするこの楽しさを知ることができたと思います。

実習を経て新たに発見できたこと

このインターンシップを通して、目的を持って働くのは楽しいということを発見しました。普段のアルバイトは、なんとなく働いていて、楽しいとは感じませんでした。でも今回、学芸員の仕事の一部である「普及」という役割を任されてみて、自分がやっている仕事の目的を意識できたことで、自分から真珠貝に関することを本で調べたり職員さんに聞いたりもでき、やりがいを感じました。今後のアルバイトでも、目的を持って働きたいなと思います。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月21日(月)～8月25日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

1 日目	9:00～ ガイダンス、博物館館長のレクチャ 11:00～17:00 真珠博物館にて実習 (休憩 1時間)
2 日目	真珠博物館にて実習(適宜自主学習、休憩1時間)
3 日目	真珠博物館にて実習(適宜自主学習、休憩1時間)
4 日目	真珠博物館にて実習(適宜自主学習、休憩1時間)
5 日目	9:00～16:00 真珠博物館にて実習(適宜自主学習、休憩1時間) 16:00～17:00 博物館館長の講義

工学部 機械工学科

3年 / 男性

工学部：インターンシップ



Acceptance company and group

大同特殊鋼株式会社

メーカー

theme

モノづくりの現場における 改善実務体験

Outline of practical training

番木置台製作(TPM業務体験)で現場視察後、それに基づき仕様を決定。CADで製図し、実際に工具を用いて製作する。空気圧シリンダー部品の図面作成(保全業務体験)。シリンダーを分解点検し、シリンダースケッチを行ってスケッチをCADにて図面化する。

comment

2週間という限られた期間でありながら、星崎工場施設室において与えられた実習課題を「1人でやりきった」こと、また、分からないことがあれば『ブラザー』(社員：『ブラザー制度』は当社の若手支援制度の一環)に相談して解決策を導く等、積極的に学ぼうとする姿勢を大変評価しています。今後、大学での研究や日常生活の中で、今回のインターンシップで得た気付きを活かし、自分自身を磨いていただくことを期待しています。



実習中に得られたこと

2週間業務を体験し、従業員と同じ一日を過ごすことによって、働くことの大変さややりがいを感じることができた。また、企業説明会や企業情報誌ではわからない、会社の雰囲気や社員同士のつながりを肌で感じられた。業務の中では、自分の経験や知識が周りの人に比べてまだ浅いと実感したが、決められた時間の中で自分ができる最大限の結果を残すことの重要性を身につけることができたと思う。例えば、完成を想像して製品の寸法を自分の中で決定していくことである。

実習を経て新たに発見できたこと

ものづくりをするうえで一人ではできない部分がたくさんあった。その分多くの人との協力は必要不可欠であり、1つの製品を作るのに想像以上の技術が詰まっていると実感することができた。この学びは、大学の講義で行われる実験・実習でも重要となってくるため、完成形を自分の中で意識して部品に向き合っていこうと思った。今回のインターンシップに参加しようと決めたきっかけは、CADを体験できる機会があったためである。普段使うことがないCADを体験して、自分の考えを図面におこす楽しさを再発見でき、自分が将来何をやりたいかを具体的にイメージできた。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月21日(月)～9月1日(金)
実習日数：10日間 実習地：愛知県

インターンシップ概要説明、工場見学会(星崎工場・技術開発研究所・滝春テクノセンター)
安全教育、実習開始(CAD使用方法習得)
実習(CAD使用方法習得、「カイゼン」テーマ現場確認、オペレーター間取り、「カイゼン」テーマの図面化)
実習(保全業務体験、シリンダー分解点検、シリンダースケッチ、スケッチしたシリンダーの図面化)
工場見学会(築地テクノセンター)、職種理解を深めよう(GW)
工場見学会(知多工場)、実習(保全業務体験、スケッチしたシリンダー部品の図面化)、全体懇親会
実習(「カイゼン」テーマの製作補助)
実習(「カイゼン」テーマの製作補助)、成果発表会資料作成
成果発表会資料作成
成果発表会

工学部 電気電子工学科

3年 / 女性

工学部：インターンシップ



Acceptance company and group

株式会社三鈴エリー (三菱ケミカルエンジニアリンググループ)

プラントエンジニアリング

theme

電計事業の概要、
電気及び計装の
基礎講座&実習

Outline of practical training

〈基礎講座(座学)〉

電気・計装の基礎、高圧受変電設備概要、
電気回路、施工管理、安全管理

〈実習〉

各種測定器の使い方、電力設備点検・試験・診断、ドローン操縦、制御／操作盤組立

comment

大学での講義では体験できないことをテーマに、弊社の社内教育用設備を活用した実習が主体のカリキュラムに取り組んでいただきました。非常に積極的な態度でご参加いただき、大変嬉しく思います。この経験を活かして今後の学習や就職活動の一助になるように願っています。



実習中に得られたこと

企業などお客様が安心して、電気設備を使えるように製品ラインの設計から点検まで行っており、普段の授業で学ぶような電気の知識以外も必要で、テスターや測定器、工具などをいかにてきぱきと使えるかが必要とされる現場だと感じた。また、どの作業においても「安全」を最優先にして作業しており、電気を扱う技術者として自身をはじめ周りの人や環境に配慮しながら仕事を進める大切さを学んだ。「安全」に作業するには、十分な知識が必要で、社員の方々はたくさん資格をもっていらしゃったので自分も資格にチャレンジしてみたいと思った。

実習を経て新たに発見できたこと

実際に電気設備の保守点検の現場を自分の目で見ることができ、机上の勉強だけでは得られない知識の修得や体験ができたことは、自分にとって一番の経験だった。また、各部署の方々が自分たちの強みをもち、仕事をされている姿を見たり、お話をさせていただく中で、学生のうちに自分の強み、やりたいことを明確にし、どんどん専門的な知識を身に付けていこうと思った。インターンシップは人生の先輩としても社員さんからたくさんのお話を聞くことができるので非常に良い刺激を受ける機会だと思う。

■ 実習スケジュール

実習期間：2017年9月11日(月)～9月15日(金)
実習日数：5日間 実習地：三重県

	AM	PM
1 日目	業務内容紹介 電気及び計装の基礎講座	【高圧受変電設備の種類と概要】 ・電気機器の役割と構造や特徴 【点検工場、回転機工場、計装工場、電気工場、資材倉庫】 ・各種電気、計装機器の紹介
2 日目	【測定機器の説明と法的基準】 ・テスター、検電器の使い方 ・絶縁抵抗計の使い方 ・接地抵抗計の使い方	【各種試験トレーニング】 ・保護具の耐電圧試験(ヘルメット、保護手袋、検電器、耐電長靴) ・変圧器絶縁油の耐電圧試験(絶縁油採油) ・サーモグラフィによる熱画像診断
3 日目	【安全第一の考え方】 ・安全保護具の装着と指差呼称 【高圧機器の操作と手順】 (DS、遮断機、LBS、気中開閉器、キュービクル、リフター)	【無人機の使い方】 ・ドローンを活用した、電気設備の診断活用方法
4 日目	【電気回路の見方、書き方】 ・シーケンス回路の基本講座	【操作盤の組立て】 ・電気工具の使い方・低圧設備の電気回路組立 【組立回路の機能試験】 ・シーケンステスト
5 日目	【電気の基本を学べ】 ・電圧降下・許容電流 ・電力系統短絡電流計算 ・照明照度設計	【施工管理】 ・設計から施工及び検査までの流れをつかむ。 研修のまとめ作業

工学部 分子素材工学科

3年 / 男性

工学部：インターンシップ



Acceptance company and group

三重県工業研究所

官公庁・団体

theme

①金属材料とその評価技術

および鉄の溶解実験

②樹脂材料・含有物質の分析

Outline of practical training

- ① 金属材料の強度・組織観察試験の考え方を学び、試験方法を習得後、鉄の研究で溶製した試料により試験を実施した。また、凝固シミュレーションのデータ入力補助や鉄の溶解実験の見学を行った。
- ② 樹脂材料と含有物質(有機物・無機物)を分析するために、分解装置を用いた試料の前処理、希釈及び検量線溶液の作製、機器分析(FT-IR, GC-MS, ICP-MS, XRF)や電子顕微鏡による試料の観察を行った。

comment

- ① 5日間の短い期間で金属材料試験などの業務を補助して頂きましたが、担当者の意見をよく聞いて質問するなど、業務内容の理解に努めてまじめに取り組んで頂きました。今回の経験を基に、材料の評価技術などについて、より勉強されることを期待します。
- ② 実習を非常にまじめに受講され、要所々々に質問するなど積極的に参加されました。実習を通して分析の基礎的な事項から、樹脂材料およびそれに含まれる添加剤の分析に関する大まかな流れまでを把握されたと考えています。本実習の体験を、今後の研究等の一助として頂ければ幸いです。



実習中に得られたこと

前半の5日間お世話になった金属研究室では、機材の仕組みを完全に理解できるまで詳しく説明していただき、より実務に近い内容を体験させていただきました。このことから、現場で業務に取り組む際の技術者は、自らが行う作業に対して、理解をしたうえで行動しないと、危険を予測し、ミスを回避することができないということを学びました。後半の5日間お世話になったものづくり研究課では、多くの分析機の見学や体験をさせていただいたことから、科学分野の分析について、理解を深めることができました。

実習を経て新たに発見できたこと

金属研究室では私一名、ものづくり研究課では二名で実習を行った結果、実習担当者の方とより密なお話をする事ができて、気軽に質問をすることもできました。また、二つの部署の実習を受けることによって、社内の雰囲気の違いがあることがわかり、自分の中で、企業研究の観点を増やすことができました。さらに、研究所で勤務されている職員の方の業務に関わる学問への理解度の高さに驚き、大学での講義が未来の自分の糧になると再認識することができました。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月14日(月)～8月25日(金)
実習日数：10日間 実習地：三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 17:00
	①金属材料とその評価技術および鉄の溶解実験【金属研究室：桑名市】	
オリエンテーション(金属材料試験概要)		試験方法の習得(金属組織観察)
試験方法の習得(金属組織観察)		試験方法の習得(引張強度試験、硬さ試験)
研究補助(実際の試料の硬さ試験)		研究補助(実際の試料での金属組織試験)
研究補助(実際の試料での金属組織試験)、溶解実験準備		研究補助(シミュレーション用のデータ入力)
溶解実験見学		インターンシップ振り返り、レポート作成
	②樹脂材料・含有物質の分析【ものづくり研究課：津市】	
所内見学・イントロダクション		FT-IRによる、樹脂成分分析
分析器具の使い方、希釈・検量線の計算		MW分解装置による、樹脂材料の分解
GC-MSによる、樹脂成分・添加剤の分析		SEMでの表面観察・分析
検量線の作製		ICP-MSによる、樹脂中の元素分析
XRFによる、樹脂中の元素分析		研修の振り返り、質疑応答

工学部 情報工学科

3年 / 女性

工学部：インターンシップ



Acceptance company and group

株式会社ソフィックス

IT・情報処理

theme

画像処理による
ロボット (Pepper) を制御する
システムを開発する。

Outline of practical training

C言語、OpenCV演習：開発で用いる言語及び画像・画像処理に関する基礎学習
プログラム作成（機能作成）：画像処理部分の実装（チームA、チームB） ロボット（Pepper）制御の実装（チームC）
プログラム作成（結合/テスト/デバッグ）、発表資料作成：各チームが作成した処理を結合/テスト/デバッグ、発表資料作成/発表準備
発表：成果発表、実演

comment

研修担当者が教えたことの理解が早く、思考力や理解力は社会人としてとても重要な能力なので大切にすると良いです。また、グループ研修では自チームだけでなく他チームのフォローも出来ていて周囲を見ることができる人だと感じました。今後の学生生活や日常生活の中でも実習中のように人の意見を良く聞き、良く考え、良い行動をすることで、自分だけではなく周りの人をも成長させてしまうような皆の頼りになる存在に成長できることを期待しています。



実習中に得られたこと

実習を通して、技術的な知識や業務内容など様々な知識を得ることができました。しかし私が最も重要だと感じるのは、体験を通して感じた喜びややりがいです。インターンシップは就業「体験」です。知識を得ることももちろん大切ですが、実際の職場という空間で業務を体験し感じる、ということはインターンシップでしか得られないことだと思います。楽しいと身をもって感じられたこと、私にとってやりがいのある職業だと確かめられたこと、それが実習で得られたものです。

実習を経て新たに発見できたこと

実習を経て、私は自分の性格について見直すことができました。実習が終了した後、企業の方からフィードバックをいただきました。初対面の仲間とのグループワークで私は積極的に行動できたかどうか、態度や姿勢からわかる私の性格についてなど、評価とともにアドバイスをくださいました。二週間という短い間であったにも関わらず、私のことを理解してくださっており、自分の短所と向き合うことができました。フィードバックによって、今後のグループワークや就職活動での課題を明確にすることができました。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月21日（月）～9月1日（金）
実習日数：10日間 実習地：愛知県

	9:00 - 12:15	13:00 - 17:45
MON	ガイダンス、情報セキュリティ講習、安全衛生講習、インターンシップの目的、業界研究、会社紹介	C言語演習（復習）/OpenCV演習、日報
TUE	OpenCV演習、業務紹介	OpenCV演習、日報
WED	OpenCV演習、業務紹介	要件説明、チーム分け、プログラム作成 機能作成（各チーム）、日報
THU	プログラム作成 機能作成（各チーム）、業務紹介	プログラム作成 機能作成（各チーム）、日報
FRI	プログラム作成 機能作成（各チーム）、業務紹介	プログラム作成 機能作成（各チーム）、スケジュール管理講座、日報
SAT	プログラム作成 機能作成/結合/テスト（各チーム）、業務紹介	プログラム作成 機能作成/結合/テスト/デバッグ（各チーム）、日報
SUN	プログラム作成 結合/テスト/デバッグ、業務紹介	プログラム作成 テスト/デバッグ/資料作成、日報
	プログラム作成 テスト/デバッグ/資料作成	コードレビュー、プログラム作成 テスト/デバッグ/資料作成、日報
	プログラム作成 テスト/デバッグ/資料作成	プログラム作成 デバッグ/資料作成/発表準備、日報
	資料作成/発表準備、業務紹介	事業・業務内容振り返り、資料作成/発表準備、成果発表会、システム開発部会議

工学部 情報工学科

3年 / 男性

工学部：インターンシップ



Acceptance company and group

株式会社ビーイング

IT・情報処理

theme

システム開発体験
～ラーメンタイマーを
プログラミングする～

Outline of practical training

C#という開発言語を使って、ラーメンタイマーのWindowsアプリケーションをつくります。まずC#について研修をし、設計・開発の実習ではプロがひとりずつ丁寧にアドバイス。決められた要件定義をクリアできるよう、使いやすい機能やデザインを自分で考えてプログラムを組み、最後は社長にプレゼンをします。また、技術習得だけではなく、ソフトウェアエンジニアのキャリア、ビジネスとしての商品開発についても学びます。

comment

プログラム作成が速く、ソフトのデザインにオリジナリティがあり、内容を理解した上で工夫をしていることが見てとれました。もともとシステム開発の基礎技術は十分備わっていましたが、新しい学びや発見をきちんと捉えながら取り組まれた姿勢も評価します。プレゼンでは、聴きとりやすい話し方ができており、専門用語やアピールポイントも聴き手が理解しやすいように説明ができていました。○○さんの今後に大いに期待しています。



実習中に得られたこと

大学の講義『計算機言語論Ⅱ』『ソフトウェア工学』では理論として学んだことを今回のインターンシップでは実践することが出来た。開発体験を通して大学で学んだことをアウトプット出来たのはい経験となった。また、担当社員の方からはITエンジニアとしての心構えや、将来を見据えてどのような意識をもって物事に取り組むべきかを教えていただいた。

実習を経て新たに発見できたこと

大学のプログラミング演習や実験では動作することが重要だが、製品を設計・開発する上では「誰が使うことを想定しているか」を考える必要があるということを知った。またプログラムの実装においても保守管理がしやすいように気を配る必要もあることに気が付いた。インターンシップ中に得た経験はこれからの演習等でも役立つことが分かった。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月28日(月)～9月1日(金)
実習日数：5日間 実習地：三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 18:00
1日目	ガイダンス	ソフトウェア開発全般の知識を学ぶ(ソフトウェアエンジニアが学ぶべき事項、業務フロー等)、振り返り
2日目	C#の基礎	C#の特徴
3日目	Windowsアプリケーション設計	Windowsアプリケーション設計～開発
4日目	Windowsアプリケーション開発	Windowsアプリケーション開発
5日目	Windowsアプリケーション開発(仕上げ、テスト)	プレゼン準備、社長へのプレゼン、学びの総括、振り返り

生物資源学部 共生環境学科

3年 / 男性

生物資源学部：公共事業インターンシップ



Acceptance company
and group

東海農政局 新濃尾農地防災事業所

官庁・団体

theme

東海農政局管内国営事業所での
業務体験を通じて、
農業・農村及び農政に対する
理解を深める。

Outline of practical training

新濃尾農地防災事業の事業内容や目的
について理解するとともに、事業で造成・
改修した農業水利施設の役割や構造、維
持管理について学ぶ。事業所の通常業務
である水質調査や測量設計、機能診断、
工事監督等に従事し、就業に当たっての
具体的なイメージを掴む。小水力発電所
等の先進地視察を通じ、農業農村整備分
野の新たな施策展開についても理解を
深める。

comment

個々の研修プログラムの内容をよく理解
し、作業に対しての確かつ意欲的に取り
組む姿が印象的でした。現場の水路で測
量や水質調査を行った際は、率先して準
備、後片付けを行うとともに、他の実習生
と協力してスムーズに作業を進めていま
した。また、最終日に実施した研修成果報
告会においては、作業の結果を十分に考
察し、聞き手が理解しやすい工夫し
て発表する様子が見られました。今後と
も大学での勉学に勤しんでいただき、将
来、農業農村工学分野の道を志してい
ただくことを期待します。



実習中に得られたこと

河川までの水の流れをたどりながら、
農業用の用排水施設や水利施設を見
学させていただき、大学の授業だけで
はイメージできない農業用水の流れ方
や実際にどのような水利施設があるの
かということを知ることができた。ま
た、事業所の職員の方との意見交換会
を設けて頂き、職員の方から直接お話
をお聞きし、漠然としたイメージだった
公務員の仕事について知ることができ
た。加えて、土地改良区の方々のお話
をお聞きし、国の機関、土地改良区、農家
の関わり方についてイメージを掴むこ
うができた。

実習を経て新たに発見できたこと

土木の分野で就職先として考えられる、
建設会社や設計コンサルタント、公務員
のそれぞれの役割分担について、実習を
通してイメージを掴むことができた。ま
た、公務員の方からお話をお聞きし、国
家公務員や県職員、市町村の職員で、事
業の規模や期間に違いがあることを理
解することができた。それに伴って、農
家の方と関わる機会の多さが変わったり
することを理解できた。以上のようなこ
とを踏まえて、今後の就職活動の際の参
考にすることができ、実習を終えてイン
ターンシップで非常に貴重な経験をさ
せて頂いたと思う。

実習スケジュール

実習期間：2017年9月4日(月)～9月15日(金)
実習日数：10日間 実習地：愛知県

	9:45 - 12:00	13:00 - 17:15
オリエンテーション、事業概要説明	現地見学(羽島用水土地改良区 業務説明)	
現地見学(新木津用水路 工事状況説明)	現地見学(宮田用水土地改良区 業務説明・意見交換)	
犬山頭首工ゲート 機能診断		
機能診断データ整理	宮田導水路工事現場監督実習、農政意見交換	
水質調査		
大江排水路分流水の測量等(構造物の経年変化確認)		若手職員との意見交換
西濃用水・小水力発電先進地区見学(他、徳山ダム等)		
設計・積算実習		
各種データ整理、意見交換・質疑応答	実習成果の整理	
実習成果の整理	実習成果の発表会	

生物資源学部 生物圏生命科学科

3年 / 女性

生物資源学部：生物資源学インターンシップ



Acceptance company
and group

万協製薬株式会社

メーカー

theme

リアル・プロジェクト・
インターンシップ

【万協製薬 薬ができるまで
改善提案プロジェクト】

Outline of practical training

万協製薬にて、全部署を実習体験し、開発・生産計画・製造・品質管理・出荷業務を学び、各課で改善提案を1件以上提案する。日常の作業の中で見落としがちな改善案や、業務への慣れから気づかないものを、第三者目線でみることにより、新たな気づきを発見する。①薬ができるプロセスに必要な、会社の全ての課を回り、その中で改善提案を考える。②塗り薬の容器に関するアンケート調査（社内と社外での比較）。③薬局での市場調査（ハンドクリーム）。

comment

研修中、積極的に社員に話しかけ、各部署での改善を提案していただきました。作業者の安全面・健康面の改善や、作業効率など、社員といっしょに考え改善されていました。実際作業を体験したことにより、同じ目線で提案いただけたと考えております。また、事前説明会時に弊社から提案した「塗り薬の容器に関するアンケート」やドラッグストアでの市場調査（特に容器やPOPについて）も、弊社からの提案目的を的確にとらえまとめていただきました。新製品立ち上げ時、参考にさせていただきます。本プロジェクトで学び・気づいたことが、今後、学業及び就職活動に活かされることを期待しております。



実習中に得られたこと

私は、約1か月（うち計8日間）会社の中に入れてもらい、全ての部署を回って改善提案を考えるというプロジェクトに参加させていただきました。製薬会社の中でも、事務や製造、品質管理、開発など、様々な部署があることが分かり、薬ができるまでに経る全工程を知りました。また、会社の雰囲気や、責任感を持って「働く」ということを感じることができました。万協製薬さんはアットホームな雰囲気、福利厚生が良く働きやすい会社であると感じました。

実習を経て新たに発見できたこと

私は今学部三年生なのですが、インターンシップに行く前は、まだ自分が将来何をしたいのかを明確にできていませんでした。このインターンシップ中に、作業している中で、楽しい、やりがいがあると思える部署を見つけることができました。また、会社の方々とコミュニケーションをたくさんとることができ、普段は聞くことのできない、働いている人の生の声を聞くことができました。これらのことを今後の就職活動に活かしていきたいと考えています。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月21日（月）～9月15日（金）
実習日数：8日間 実習地：三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 17:00
実習1	総務課、FSS課	GMP説明、FSS課、経理部、工場見学
実習2	開発課（試作）	開発課（試作）、事務作業、改善提案
実習3	製品整理、面談、調合課	調合課、改善提案
実習4	全体集会、ミーティング、生産管理課	生産管理課、工場見学、営業事務について
実習5	充填課、検品作業など	製造ライン見学・体験、検品作業、ミーティング
実習6	包装課	製造ライン見学・体験、改善提案
実習7	品質管理課、品質管理試験	品質管理試験、改善提案
実習8	品質管理試験	改善提案、会議、まとめ・振り返り

生物資源学部 生物圏生命科学科 3年 / 女性

生物資源学部:生物資源学インターンシップ



Acceptance company
and group

ヤマモリ株式会社

メーカー

theme

調味料やレトルト食品の
企画・開発・製造・販売体験を通し、
仕事に必要な知識・考え方を学び、
主体的に行動する意欲を養う

Outline of practical training

5日間で「商品企画」「試作開発or営業」「製造」の3職種の業務を体験することができるプログラムです。商品企画～販売まで、商品のできる流れに沿って業務を体験することにより、各部署とのつながりや、会社全体にまで視野を広げてものづくりを学ぶことができます。期間中は「開発」と「営業」の2つのコースに分かれて実施。「開発」は試作・評価の実践、「営業」は同行による商談や店舗回りなどをメインに体験いただきます。

comment

社員からの説明を集中して一生懸命聞こうとしている姿勢が素晴らしいと思いました。そのため、開発業務の細かなところもイメージできており、理解度はとても高い印象を受けました。しかしながら、自分の考えを表に出すことが苦手なようにお見受けしたため、能動的な発言をされると良いと思います。今後の学生生活において、自らアウトプットすることを意識しましょう。



実習中に得られたこと

5日間体験させていただいて、私はまだまだ知らないことばかりで、もっと知識を身につける必要があると気づくことができました。そして、緊張を取り払えず、あまり質問できませんでしたが、積極的に自分の疑問や考えをぶつけることの重要性を体感しました。私が体験した仕事はほんの一部ではありますが、楽しそうな会社の雰囲気や、食品に関わる仕事のやりがい・大変さ、自分の不足しているものなどたくさん知ることができました。また、同年代の他大学からの実習生とも関わることができ、とても濃厚な5日間で貴重な体験でした。

実習を経て新たに発見できたこと

多くの部署があり、それぞれの得意分野を生かしながら、自分たちの仕事に誇りを持ち、全員でより安心・安全な商品を作り上げていることを発見できました。また、自分がイメージしていたよりも、1つの商品が企画から販売に至るまでに、たくさんの人が関わっていて多くの時間がかかるということを知ることができました。しかし、時間をかけられない案件もあるため、期限に間に合わせることも大変さを感じました。そして、大多数の消費者のニーズに合った商品だけでなく、マニアの方に合った商品も企画する必要があると知ることができました。

実習スケジュール

実習期間:2017年8月29日(火)～9月4日(月)
実習日数:5日間 実習地:三重県

1日目	9:00～11:00 ガイダンス 11:00～17:00 商品企画体験
2日目	8:30～10:00 安全衛生教育 10:20～17:00 調理食品開発体験
3日目	8:30～10:00 調理食品開発体験 10:20～17:00 工場実習
4日目	9:00～17:00 つゆ・たれ開発体験
5日目	9:00～12:00 工場見学 13:00～17:00 研修まとめ、報告会

地域イノベーション学 研究科

修士 1年 / 男性(2名)

地域イノベ研究科: インターンシップ研修



Acceptance company
and group

有限会社 二軒茶屋餅角屋本店

メーカー

theme

地域企業が有する特有の課題と
改善提案を考える

Outline of practical training

地域イノベーション学研究科で実施しているインターンシップ研修は、「特別研究」を履修していくための事前段階の社会経験の一つとして、「企業が活動している状況下で、活動をより活性化させたり、今抱えている課題解決のために改善活動を実施している」場面に参画し、実際の企業活動に接することを目的とする。

comment

1人は休日に自ら名古屋まで出向きクラフトビールを購入しテイスティングをするなど、何事にも問題意識をもち意欲的に取り組んでみえました。これからが楽しみです。もう1人は、体力的には少々大変そうでしたが、人当たりも良く、また、座学においても理解は早く、仕事への取り組みの積極性などはインターンシップ中にも成長が見られました。今後は、より積極的・主体的に物事に取組むことで社会に必要とされる人材に育っていかれると感じます。



実習中に得られたこと

工場でのクラフトビール生産の一連の流れを体験し、食品製造の現場ではどのような考えを持って生産されているかを理解できました。社員の皆様との距離が非常に近く、様々なお話を伺い、就職への意識を変えていくことができました。1か月という長期間で受け入れていただいたため、業界への理解がより深まったと感じています。

実習を経て新たに発見できたこと

インターンシップに参加して、3日間、ボードゲームでの企業経営体験や会計、生産性などに関する講義を受けました。講義を受けた後に生産工場で業務体験をしましたが、生産性向上のための努力や製造コストなど今まで意識したことのない部分がわかるようになりました。インターンシップでは職場や業務へのイメージと企業の考えとのギャップを知る事ができるため、就職活動をする上で自身の志望する企業を決定するための重要な判断材料になると思います。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月21日(月)～9月15日(金)
実習日数: 20日間 実習地: 三重県

日	月	火	水	木	金	土
8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26
		企業経営講義・研修		ビール製造業務・事前研修		
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2
		ビール製造業務・製造業務研修				
9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
		ビール製造業務・製品開発研修				
9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
		ビール製造業務・品質管理研修				

生物資源学部 共生環境学科

3年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

株式会社横山食品

メーカー

theme

リアル・プロジェクト・

インターンシップ

【20代をターゲットにした
販売展開プロジェクト】

Outline of practical training

日本制覇を目指す横山食品は、既存のメイン客層ではない20代もターゲットとして視野に入れた幅広いお客様への商品販売を検討している。このプロジェクトでは、試作・試食も交えて若者からお年寄りまで多くのお客様に愛される商品販売について考える。実際に試食販売やSNSを活用した情報拡散を企画・実践し、その効果や可能性について探る。

comment

限られた期間内での目標達成は難しかったと思いますが、授業でインターンに参加できない間も、こまめに連絡を取り合いレシピ提案をくれたり、自宅でパッケージ変更案をまとめるなど、精一杯取り組もうとする姿勢が頼もしかったです。これから大学を卒業され、実社会で様々な案件にチャレンジする機会がでできます。その時にリアル・プロジェクト・インターンシップの経験は必ず役立つと思います。皆さんが学んだ様に、弊社にとっても学ぶことが多くありました。共に成長する機会を与えて頂いたことを感謝します。



実習中に得られたこと

食料品の販売促進の流れを体験することができました。実際に県内のスーパーの食料品売り場で、社長から直々に商品の陳列の法則などを教えていただきました。また、担当の社員の方に日報のフィードバックをしていただき、自分一人で気が付かないことを、多く教えていただきました。社内でのアンケートからスーパーでの試食販売まで、貴重な経験をたくさんさせていただき、食料品の販売促進の流れだけでなく、小売り業界・食品業界への理解も深まりました。

実習を経て新たに発見できたこと

リアル・プロジェクト・インターンシップに参加して一番の収穫は、自分の課題に気が付けたことです。実際にプロジェクトを進めていくうちに、今の自分の能力ではできないことに直面したり、できていると思っていたのに上手くいかないことが多々ありました。「何となく感じている自分の課題」と「実際に行動して、得られた失敗からみえてくる課題」には大きな差があると私は思います。後者は解決に繋がる行動に直結し易い為、自分に大きな利があると思います。また、地域に根付いた県内の企業様にお世話になった為、自分の住んでいる地域をより深く知ることもできました。

■ 実習スケジュール

実習期間：2016年8月9日(火)～9月23日(金)
実習日数：15日間 実習地：三重県

	AM	PM
1日目	挨拶、会社・工場見学、試作・試食	市場調査準備、まとめ
2日目	掃除、市場調査について(社長)、市場調査	市場調査まとめ、レシピ検討・試作・試食
3日目	市場調査まとめ、企画書作成、試作	アンケート内容検討ミーティング、商品POP検討・食べ方提案ミーティング
4日目	食べ方提案検討、試作、食べ方提案実施	アンケート作成、試食アンケートミーティング
5日目	試食アンケート準備	試食アンケート・片付け、SNS投稿、アンケート集計
6日目	アンケート集計、試食アンケート準備	試食アンケート、面談、テレビ取材
7日目	アンケート集計、まとめ	
8日目	アンケート分析、SNS投稿	
9日目		SNS投稿、分析まとめ、売上推移分析
10日目	売上推移分析、試作・試食	
11日目		工場について、商品POP作成、試作
12日目	試食販売準備	試食販売準備
13日目	試食販売準備	試食販売
14日目	社内発表準備	社内発表準備
15日目	社内発表	

生物資源学部 生物圏生命科学科 2年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

株式会社マスヤ メーカー

theme

リアル・プロジェクト・
インターンシップ
【目指せ“狙い”の品質！
工場で新商品を安定的に
作るプロジェクト】

Outline of practical training

新商品を開発し、発売するうえでネックとなるのが設計品質と量産品質のギャップ。そのギャップが生じる原因を分析して、お客様が求める理想の品質(=“狙い”の品質)へと導く活動を実践的に体験する。品質を維持しながら商品の作り方を見直し改善することで、工場でのロス率を下げることを目標にインターンシップを進めた。

comment

新商品の課題を伝え、「試作室を自由に使っていいので改善案を提案してほしい」という、テーマが大きく難しいリクエストでしたが、固定概念や知識のある我々では思いつかない、インターンシップ生らしい斬新なアイデアが出てきて驚きました。限られた時間だったため、最後まで検討しきれなかった部分は多々ありますが、今後の検討事項として弊社で引き取って考えていきたいと思います。新たな視点が得られたので、我々にとっても成果となりました。



実習中に得られたこと

新商品の発案から商品となって市場に出すまでの具体的なプロセスを学びました。実際の商品開発の会議に参加して発言したり、試作レベルから工場での大量生産へのスケールアップを試したりと約二週間のインターンシップの中で企業についての課題ややりがいなどの理解を深めることができました。一つ一つ課題を解決していく大切さを肌で感じ、色々な社員さんからの生の声を聞いて自分の将来について深く考える機会を得られたと思います。

実習を経て新たに発見できたこと

インターンシップに参加する一番のメリットは自分に何が向いていて、何が向いていないかを知ることができる点だと思います。特にリアル・プロジェクト・インターンシップでは長期間仕事をさせていただけるので、「この仕事は楽しい」「これは自分には向いていない」などを知ることができます。また様々な社員さんと協力し、コミュニケーションする機会が多くあるので、如何に自分の考えを分かりやすく伝えるかを学ぶこともできます。それらを通して、自分の長所、短所なども知ることができるため、今後の就活や自己分析にも役立たせることができます。

実習スケジュール

実習期間:2017年2月15日(水)~3月2日(木)
実習日数:12日間 実習地:三重県

	8:00 - 12:00	13:00 - 17:00
1st	朝礼、概要説明、理念教育、会社見学、ディスカッション	衛生教育、リスクアセスメントについて自習
2nd	朝礼、QCについて、試作	工場見学、試作
3rd	朝礼、QCについて、試作、品質管理会議	試作、自習
4th	朝礼、QCについて、安全衛生ミーティング、商品ミーティング	副社長面談、自習、商品企画会議
5th	朝礼、掃除、ブラインドテスト準備、自習	サンプル集め、自習
6th	朝礼、試作	包装
7th	朝礼、試作	試作品選別、面談、試作品分析
8th	朝礼、企画発案ミーティング、QCについて	改善案提案、試作
9th	朝礼、工場見学、試作	試作
10th	朝礼、掃除、試作	試作、自習
11th	朝礼、まとめ	製販会議、まとめ
12th	朝礼、試作	まとめ、社長面談

人文学部 法律経済学科

3年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

株式会社百五銀行

金融

theme

銀行業務に関する基礎知識等や
ビジネスマナーを習得すると
ともに、行員の執務状況を見学し、
銀行に対する興味・知識を深める。

Outline of practical training

銀行業務全般(特に、銀行が収益を得る仕組み)をはじめ、資金運用・資産運用・外国為替業務に関する座学と、実際、行員が執務をしている場所を見学していただきました。また、当行の新入行員が入行直後の一次研修で受講するビジネスマナー(お辞儀や電話応対・名刺交換の仕方、言葉遣い、お礼の数え方(札勘))も習得していただきました。

comment

わずか3日間と、大変、短い期間でしたが、目的をもってインターンシップに参加していただきました。〇〇さんのインターンシップに臨まれる姿勢からは、積極的に学ぼうという意気込みが非常に感じられるとともに、スポーツマンらしい爽やかな印象を受けましたので、サービス業や接客業にむいてみえる方だと感じました。残された学生生活、様々なことにチャレンジして、見聞を広めてください。今後の一層のご活躍を期待しています。



実習中に得られたこと

現場の生の声を聞くことでインターネット等で得られる情報より、多くのことを知ることができました。銀行業界についても、聞くことができました。実際に働くと、とても勉強が大変だという話や、給料は大変な労働の対価だという話も生の声でないと聞けなかったと思います。もちろん、株式会社百五銀行という企業についても多くのことを聞けました。海外に行きたかったという社員さんがいて、その方に、海外へ行くことを上司は応援してくれたり、希望が通りやすい会社であることを聞きました。

実習を経て新たに発見できたこと

銀行という業界にお堅いイメージしかなく、社員の方は全員まじめで堅い方だと思っていました。ただ、実際に働いている現場に伺って、生の声を聞くと堅くてとっつきにくい方などおらず、みなさんユーモアもあって誠実な方だったのが一番印象に残っています。それは企業を知ろうと、イメージで決めつけることがいかに間違っているかを新たに発見させてくれました。業界分析も企業分析も先入観に捉われると良いことはないということをもっと痛感できたので、大変貴重な場でした。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月16日(水)~8月18日(金)
実習日数: 3日間 実習地: 三重県

	9:30 - 12:30	13:30 - 16:30
1 日目	開講オリエンテーション 銀行業務について	広報業務について マナー応対(挨拶・名刺交換 他) 札勘練習
2 日目	資産運用業務について 外国為替業務について	資金運用業務について 丸之内本部棟 見学
3 日目	銀行業務見学・体験(百五銀行 本店営業部)	3日間の振り返り 質疑応答 閉講

人文学部 法律経済学科 3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

損害保険ジャパン 日本興亜株式会社

金融

theme

三重大学生に対する 損害保険業界の理解と 仕事体験実習

Outline of practical training

11/8、12/13、1/10の午後を利用した分散型インターンシップ。

11/8は座学による損害保険業界の概要と業務内容の説明。

12/13は津、四日市の営業店における仕事体験型実習として代理店の訪問がメイン。

1/10は保険金サービス部門における実務研修と津保険金サービス課の見学。

comment

〇〇さんは早くから損害保険業界に関心を持って頂いていたようでしっかりと事前勉強が出来ていました。実際に代理店への訪問時には積極的に質問されておりマーケットへの商品展開の流れについて興味を持たれたようです。当社は、保険を通じてお客様の安心・安全・健康に資する最高品質のサービス提供を目指しております。インターンシップにより、企業活動や日常生活におけるお客様の目に見えないリスクに対する当社の役割を少しでもご理解いただけましたら幸いです。



実習中に得られたこと

保険会社にはどんな仕事があるのか、体感ワークを通じて理解を深めました。体感ワークの後は、自分たちのグループの考えをプレゼンしました。プレゼンでは、自分たちの考えを時間内で伝えることの難しさを痛感しました。代理店訪問では営業店社員の方が代理店に細やかな対応をしていると感じました。毎週30分程度の訪問ですが、さまざまなことを話し信頼関係を築き上げていることが分かりました。一人ひとりの相手に合ったやり方をじっくり考え、行動することの大切さを感じました。

実習を経て新たに発見できたこと

インターンシップを通じて保険会社の社会における役割を知ることができました。何か行動しようと思えばリスクは付きものです。保険会社がそれらすべてのリスクから顧客を守る働きをしていることが分かりました。会社が新しいことにチャレンジしたいとき、研究を進めたいときなどに、躊躇することなく行えるのは保険会社のお陰だと思いました。今の経済大国日本を作り上げるのに保険会社が一役買ったと言っても過言ではないと感じました。

実習期間：2017年11月8日(水)・12月13日(水)
2018年1月10日(水)
実習日数：3日間 実習地：三重県

実習スケジュール

13:00 - 17:00	
1 11月11日	はじめに、挨拶 自己紹介 学生自己紹介 ビジネスマナー講座(身だしなみ・振る舞い/敬語/客先訪問/名刺交換) 業界説明 仕事説明 会社説明 実習注意点・次回に向けて
	各拠点で現場実習(事務所見学・代理店同行)
	営業店実習報告 保険金サービス部門体感ワーク 保サ社員説明・現場見学 就職活動について
2 11月12日	
3 11月13日	

【夏のインターンシップスケジュール】
9月11日から9月15日の5日間
・保険金サービス部門体感ワーク
・営業部門体感ワーク
・プレゼン
・商品開拓体感ワーク
・プレゼン 座談会

人文学部 文化学科

3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

全国農業協同組合 連合会 三重県本部

官公庁・団体

theme

三重県産農産物の
生産・流通・販売における
実践的学習と今日的課題の把握

Outline of practical training

- ・ JA全農みえの事業概要の説明
- ・ JA全農みえの各事業所(営農対策部・米穀部・農産部・生産資材部 他)及び関連施設の視察
- ・ 農業に関する体験実習

comment

JA全農みえの多岐にわたる事業内容を理解するとともに、業務内容や農業情勢に関する質問をするなど、自ら理解を深めようと真摯に取り組む姿勢を評価します。また、体験実習等を通じて、実際に現場で農業に触れることで、新たな気づきもあったのではないのでしょうか。本インターンシップへの参加を機に、今後も日本の農業や食への関心を持っていただき、様々なことにチャレンジしてみてください。



実習中に得られたこと

全農について今まで詳しく知らなかったが、農家さんや私たち消費者にとって欠かせない事業を行っていることが分かり、農業に関わることを幅広く知ることができた。また、各部署の職員さんや、他のインターン生との交流が刺激になった。職員の方々の熱意が伝わり、自分も打ち込めるような仕事に出会いたいと感じ、今後の就職活動に対して前向きになれた。社会人の方と名刺交換を実際に行い、マナーについても学ぶことができた。最終日には各部署の職員さんが多数集まって交流会が行われ、職場の雰囲気を知ることができた。

実習を経て新たに発見できたこと

農産物の生産、加工、卸売、販売の現場をそれぞれ見ることで、流通についてのイメージが鮮明になった。全農がこれらのほとんどに関わっていることを学ぶことができた。また、お米のおいしい炊き方や、お茶の淹れ方など、普段の生活に活用できる豆知識も知ることができた。社会人になってからも常に勉強が必要であるという話を聞き、今の知識量も大事だが、理解力や柔軟性も同時につけていきたいと思った。比較的歳の近い職員さんからベテランの方までの生の声を聞き、自分が就職する際に大切にしたい軸を決めることが大切だと感じた。

実習スケジュール

実習期間: 2017年9月4日(月)～9月8日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	8:45 - 12:00	13:00 - 17:15
1日目	担当部: 管理部、営農対策部 オリエンテーション、JA全農みえ事業説明 営農対策課の事業説明	県農業研究所の事業説明、施設視察 研修のまとめ
2日目	担当部: 米穀部 米穀課の事業説明 試験展示圃場の現地確認	事業・流通に関する研修 施設研修(パールライスセンター) 研修のまとめ
3日目	担当部: 生産資材部 肥料農業課の事業説明、施設研修 「肥料農業の基礎知識」「土壌分析とは」の研修会 施設研修(広域土壌分析センター三重)	農業機械課の事業説明、施設研修 施設研修(中古農機部品センター、中古農機展示場) 研修のまとめ
4日目	担当部: 農産部 農産部の事業説明 県内卸売市場の事業説明、施設視察	県内JA園芸品目加工施設の事業説明、施設視察 茶販売課の事業説明、施設研修(南勢茶センター) 研修のまとめ
5日目	担当部: 営農対策部 本会が取組む実証試験等の概要説明 実証圃(水稲)の収量調査(体験実習)、研修のまとめ	

人文学部 法律経済学科

3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

日本トランスシティ 株式会社

運輸・倉庫

theme

物流の幅広さと
奥深さを体感する。

Outline of practical training

『物流』と一言で言っても色々な分野があります。お客さまからお預かりしている貨物を保管する倉庫業、港で船から貨物を揚げたり積んだりする港湾運送事業、小売業のお客様の物流センターの運営、等々。そういった物流現場を目で見て、そこで働く社員の話を聞き、普段余り意識することがない『物流』の世界を感じていただくことが目的です。

comment

3日間という短い間でしたが、物流の担う役割、社会における重要性について十分御理解いただけたと感じております。また、インターンシップ終了後のアンケートでは物流という業種の中でのコミュニケーションの重要さにも触れていただけておりました。感じていただいた通り、物流業におけるコミュニケーション能力は最も大事な能力の一つです。恐らく他業種においても大事な要素だと思いますので、日常生活におきましても積極的にコミュニケーションを取っていただき来るべき社会人生活に備えていただければと思います。



実習中に得られたこと

物流会社では、各部署によって仕事内容が大きく異なるということを知りました。物流といえば、物を運ぶというイメージが強かったのですが、物を保管することや通関などの業務の必要性を知ることができました。また、社員の方にお話を伺う中で、物流業界で働くことのやりがいや苦労するところ、会社の特色などのネットや説明会では聞けないような情報を得ることができました。また、普段見られないような様々な現場で実際に働いている姿を見ることができ、実際に会社で働くイメージを掴むことができました。

実習を経て新たに発見できたこと

インターンシップに行った結果、社会で働くためにはコミュニケーション能力を身に付ける必要があるということを改めて実感しました。実際に働いている現場の見学をすることや社員の方の話を聞く中で、顧客や他会社とのより良い関係づくりを大事にして仕事をしている方が多いと感じました。そして、より良い関係を築いていくためには、相手の話をきちんと聞く力や自分の言いたいことをしっかりと伝える力などの能力が必要だと思いました。インターンシップに行くことでこれらの能力を身に付ける必要性を知ることができました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月22日(火)～8月24日(木)
実習日数: 3日間 実習地: 三重県

	AM	PM
1 日目	●当社及び物流について ガイダンス	TRANCY及び物流 グローバルに活躍する当社社員
	●物流事務・現場	
2 日目	通関業務 コンテナターミナル業務	倉庫業務 物流センター運営
	●特殊な物流現場	
3 日目	サイロ及びバラ貨物 コールセンター及びバラ貨物	重量物倉庫 振り回り

人文学部 法律経済学科

3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

株式会社ZTV

サービス

theme

- ・ケーブルテレビの仕組みや
伝送方式について
- ・ケーブルテレビで使用する
測定器や検証器を用いた実習

Outline of practical training

- ① サーモグラフィーを利用したヘッドエ
ンドの温度調査等(通信課)
- ② 光測定器を用いた光ファイバのレベ
ル測定等(法人課)
- ③ 検証器を用いた動作検証及びコマン
ド入力等(工事管理課)
- ④ プレゼンテーション(全体)

comment

5日間のインターンシップ実習にご出席
頂き有難うございました。〇〇さんには、
実習時における各講師からの課題や質問
について明瞭かつレスポンス良く対応し
て頂いておりました。また、グループディ
スカッションの場では積極的にグループ
内の取り纏め役を担っていたと感じまし
た。今後の学生生活や就職活動におい
ても、グループでの実習の機会があると思
いますので、是非今回のインターンシップ
実習の経験を活かしてください。〇〇さ
んのこれからのご活躍をお祈りしており
ます。



実習中に得られたこと

元々テレビ局に興味があったため、番組
が届くまでの流れを知ることができ、大
変役に立った。また、社員さん1人1人が
丁寧に教えてくださったため、理系向け
のインターンシップであっても十分につ
いて行くことが出来た。最適な信号を届
ける難しさや理系的な視点も身につい
た。今までは文系の職種のイメージとし
て営業などしか思い浮かばなかったが、
実際文系出身で理系寄りのお仕事をさ
れている社員さんもいらっしゃり、職種
についての視野が広がった。

実習を経て新たに発見できたこと

ケーブルテレビ局には理系の存在が必要
不可欠であることが実感出来た。信号が
上手く届かなくてお客様からの質問が来
た際、表面的な内容ではなく根本的な仕
組みまで理解しておくと言得力のある説
明が出来るのではないかと感じた。また、
最後の日に自主制作番組が出来るまでの
流れやスタジオ見学もさせていただい
た。最新の情報を届けるために常に様々
なことにアンテナを張っている番組制作
のお仕事はとても魅力的だと思った。単
に知識を身につけるだけではなく、その
知識を実用的に用いるスキルが社会人と
して求められていることが理解出来た。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月14日(月)~8月18日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	9:00~12:00	13:00~17:00
1 日目	朝礼参加、自己紹介、概要説明、 ケーブルテレビの仕組みについて、社内見学等	インターネットサービスの仕組みについて 法人サービスの仕組みについて サービスの保守運用について、打合せ
2 日目	サーモグラフィーを利用したヘッドエンドの 温度調査等	サーモグラフィーを利用したヘッドエンドの 温度調査等、プレゼンテーション資料作成
3 日目	光測定器を用いた光ファイバのレベル測定等	光測定器を用いた光ファイバのレベル測定等 プレゼンテーション資料作成
4 日目	検証器を用いた動作検証及びコマンド入力等	検証器を用いた動作検証及びコマンド入力等 プレゼンテーション資料作成
5 日目	プレゼンテーション資料作成	プレゼンテーションリハーサル プレゼンテーション本番、総括

人文学部
文化学科
3年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

三重交通株式会社

運輸・倉庫

theme

三重交通の各部門
(乗合バス事業・旅行業)における
業務体験及び課題研究

Outline of practical training

- ① 乗合バス事業:伊勢管内の路線バス
1日乗車(課題発見・研究)・乗合バス
の課題解決ワーク(プレゼンあり)
 - ② 旅行業:バスツアーの企画(プレゼン
あり)・熊野大花火大会(バスツアー)
の運営サポート、浜割、当日現地運営
(お客様誘導等)
- ※自己分析:ツールを用いた自己分析の
実施・自身の強みと弱みの把握

comment

慣れない環境下ではありましたが、落ち
着いており、物怖じしないタイプの方だと
感じました。今回、当社社員の前でプレゼ
ンを行う機会などもありましたが、要点を
まとめ、人前で堂々と話せることは、〇〇
さんの強みであると思います。また、今回
の感想で、当社のイメージがバス事業の
みであったところ、他にも様々な事業を
行っていることがわかったという旨のコメ
ントをいただきました。今後の活動におい
ても、視野を広く持ち、自身の理解を深め
ていく姿勢を大事にしていいただければと
思います。更なる自己研鑽を期待します。



実習中に得られたこと

花火大会に実際に行き、お客様と関わ
る仕事を体験出来たのは非常に良い経
験でした。花火大会のことや熊野のこと
について聞かれた時に答えられなかつ
たことが悔しく、また学生とはいえ企業
の名前を背負って働いているので、しっ
かりと準備をしなければいけなかったと
反省しました。準備の大切さを学んだイ
ンターンシップだったと思います。また、
社会人の方々と相手にプレゼンテーショ
ンする機会は貴重な経験でした。学生相
手にもプレゼンテーションをする機会は
あまりないので、とても緊張しました。プ
レゼンテーションをした後にフィード
バックを頂けたので、これからも生かし
ていきたいと思っています。

実習を経て新たに発見できたこと

10日間という長期間のインターンシッ
プで様々な体験をしました。お客様の相
手をしたり、顧客目線から課題を見つけ
たりと中身の濃い10日間でした。三重交
通の仕事を体験し、少しではありますが
社会人として働くことを実感できまし
た。事業内容を知ることが出来たのは勿
論ですが、社会人としての心構えをして
いけないといけなと気づいたことが
非常に大きいと思いました。インター
シップで学んだことを生かしてこれから
頑張っていきたいと思っています。

実習スケジュール

実習期間:2017年8月10日(木)~8月23日(水)
実習日数:10日間 実習地:三重県

実 習 日 程	オリエンテーション
	浜割
	旅行企画業務、発表、フィードバック、プレゼン(パワーポイント等使用)、旅行営業部課長・担当者・ 人事担当等による講評
	自己分析(ツール等使用、ワークあり)
	熊野大花火大会 現地運営
	バス営業部・伊勢営業所 課題解決ワーク、伊勢営業所にて1日路線バス乗車(課題発見)、課題研究、 プレゼン(パワーポイント等使用)、バス営業部課長・担当者・伊勢営業所営業係長・人事担当等による講評 昼食懇談会

工学研究科 機械工学専攻

修士 2年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

株式会社 啓愛義肢材料販売所

メーカー

theme

義肢装具部品製造に
関わる研修及び装具製作実習

Outline of practical training

実習概要：肩装具の開発及び、製作実習
実習内容：開発コンセプトの打ち合わせ・
装具材料の選定・装具の設計。検討後、図
面作成・部品手配・部品加工と装具採型・
成形を実際に行い、装具を組立て機能を
確認。実際に装着し、検証。問題点の洗い
出しを経て、改良。装具を完成させ実習
完了としました。

comment

約1か月間の実習を通じて開発のプロセスを理解・吸収し、自分の物にできました。現場や開発部など、周りとしっかりコミュニケーションを取り、どのように進めて行きたいのか自分の意見を明確に伝え、確実に開発から製作へと繋がりました。特に評価出来た点は、自らのイメージを具体的な形にする力が長けています。これからいろいろな経験を積み、まだ世の中に無い何かを形にするため、是非頑張りたいと心より期待しています。



実習中に得られたこと

金属部品の設計から加工までの工程を体験したため、機械設計の技術を高めることができた。工場の設計の方や現場の方のご指導の下、各金属材料の特性を学びながら自分の手で工作機械を動かし部品の加工を行うことで、軽量で強度がある製品を製作するため目的に合わせた金属材料の選択や、加工方法を踏まえた機械設計を行うことができるようになった。また、製品開発を行う上で、さまざまな要求仕様や設計に対応しなければならないことがあり、そのような場合には、積極的に新しい知識を取り込み、発想を転換するなど柔軟に対応することが大事であると学んだ。

実習を経て新たに発見できたこと

実習を行う中で、一つの製品であってもたくさんの人によって開発や製作が進められていることが感じられた。さまざまな分野の人が関わりながら開発や製作が行われることにより、使用者のニーズを的確に見抜きそのニーズに対応するだけでなく、使用者の方への負担軽減や安心安全が考慮された人に寄り添うような製品を作ることができる。わたしもそのような使用者が真に満足する製品を作ることができるようなエンジニアになるべく努力していきたい。

■ 実習スケジュール

実習期間：2017年9月19日(火)～10月20日(金)
実習日数：25日間 実習地：埼玉県

	日	月	火	水	木	金	土
9月	17	18	19 再設計	20 部品発注	21	22	23
	24	25 3Dプリンタ 部品	26	27 国際 福祉機器展	28 (予備日) 肩装具	29	30
	1	2	3	4 組み立て	5	6 中間報告	7
10月	8	9 再設計 部品発注	10	11	12 組み立て	13	14
	15	16	17 最終チェック	18	19	20 終了	21

工学部 分子素材工学科 3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

株式会社東海理化 メーカー

theme

材料の解析と現象究明の為の
分析評価(スイッチ製品の接点
現象に関わる評価)

Outline of practical training

当社が開発する製品に要求される仕様をもとに、必要品質ならびにコストを考慮した最適材料を選定するための評価や実験で明らかになった現象の解明に向けた各種分析の体験。

comment

単に頼まれた試験をこなすだけではなく、どうやったらうまくいくか、試行錯誤しながら試験してくれました。結果も、おおよそ試験前に予想した通りの結果ができましたし、一部新しいこともわかりました。大変感謝しています。



実習中に得られたこと

細かい作業を繰り返し行う業務内容であったが、結果として大きな傾向が見られたことや、施設の見学や会社についての説明を聞いてどのように自動車の開発につながっているかを具体的に知ることができたため、大きな達成感を得ることができた。私は学部生で学生実験でしか器具を扱ったことがなかったが、様々な器具やワード・エクセルの使用法の指導を丁寧にいただき、実際に使用させていただいたためスキルアップにつながった。

実習を経て新たに発見できたこと

配属部署の室長さんが「常に目的との位置関係を考えて、客観的に良い仕事をすることが大切」とおっしゃっていた。自分がどれだけ頑張ったと思っても目的を達成していなければ良い仕事とは言えないことに気づいた。グリースの性能を比較するにあたって、担当の方と実験結果から次の実験方法を考え、実験器具を検討しながら実験を進めた。そういったことから製品開発のための実験の楽しさややりがいを感じることができ、将来は開発に携わる仕事に就きたいと思った。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月28日(月)～9月8日(金)
実習日数: 10日間 実習地: 愛知県

	9:00 - 12:00	13:00 - 17:00
1日目	部の説明・実験室のルールなど説明	耐異物性試験の実施
2日目	耐異物性試験の実施	耐異物性試験の実施
3日目	耐異物性試験の実施	耐異物性試験の実施
4日目	摩擦係数測定	摩擦係数測定
5日目	摩擦係数測定	摩擦係数測定
6日目	異物混入摩耗試験	異物混入摩耗試験
7日目	異物混入摩耗試験	異物混入摩耗試験
8日目	測定結果まとめ	測定結果まとめ
9日目	測定結果まとめ	測定結果まとめ
10日目	測定結果報告	人事部にてインターンシップの振り返り

生物資源学部 生物圏生命科学科

3年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

尾鷲物産株式会社

メーカー

theme

水産業の現場を学ぶ
(海上養殖・水産加工)

Outline of practical training

会社説明、製造部(安心・安全の国際認証を受けた機械化された工場にて、加工から出荷までの水産加工の一連業務)、飼料増養殖部(出港/帰港の準備・片づけ、餌やり、死魚回収など海上養殖の現場)、営業部(スーパーマーケットの来店イベントでの販売)

comment

「育てた魚を加工し販売する」という一連の業務に携わってもらいました。お客様の安心・安全を守る製造部、海上での作業がある養殖部では、業務上曖昧さが一大事を引き起こすことを理解し、初対面の人と話すのが苦手な中、確認業務にも努めてくれました。日報では気づき・学びを日々5つ挙げ、振り返りをすることで自分自身にもしっかり向き合っていました。逆に当社社員が気づきを得ることもありました。短期間ではあったものの「生物としての魚」が好きであることがよくわかりました。今後、水産業界での活躍を期待するばかりです。



実習中に得られたこと

社会人になってしまえば当たり前のことでも、今の自分には身につけていないことが多くありました。担当の方にはメールの書き方ひとつから丁寧に教えていただき、今後社会で働いていくうえで欠かせないマナーを知ることができました。また、休憩時間などを利用して社員の方とお話しし、一個人としてのふるまい方から現在の水産業界の話まで、幅広く教えていただくことができました。ちょうど自分が学んでいる分野の話題で、大変熱く話し合うことができたのを覚えています。

実習を経て新たに発見できたこと

普段の生活とは違った環境に身を置くことで、今まで見えなかった自分の特徴、傾向に気づくことができました。私の場合、疑問に思ったことや感心したことなどをこまめにメモし、見返すことで、より理解が深まり、日報などの記録もスムーズに行えるようになりました。また、製造、飼料増養殖、営業という3部署での業務を体験し、企業がどのように成り立っているかに気づけたのではないかと思います。部署ごとの業務内容は全く異なっているながらも、必ず互いにどこかでつながりを持っていて、全ての部署の働きがあって初めて一企業として機能しているのだと実感しました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年9月10日(日)～9月16日(土)
実習日数: 7日間 実習地: 三重県

		AM	PM
1日目		初回モニタリング、会社説明、尾鷲案内、直売所「おとと」見学	製造部説明、準備、製造部作業(ピッキング)
2日目	製造部	朝礼、加工作業(ピッキング)	加工作業(骨すき、頭部ぶつ切り)
3日目		出荷作業(氷・シール入れ、冷蔵庫への運搬)	出荷作業(箱詰め、氷・シール入れ、運搬、箱補充)、工場説明、出荷作業(運搬、片付け、掃除)
4日目	飼料増養殖部	打ち合わせ、エサ積み込み・出船準備、海上作業(餌やり見学・薬混ぜ・死魚回収)	海上作業(餌やり・死魚回収)、帰港・荷下ろし
5日目		打ち合わせ、潜水作業見学、海上作業(餌やり見学・死魚回収)	海上作業(餌やり・死魚回収)、帰港・荷下ろし・掃除
6日目		打ち合わせ、エサ積み込み・出船作業、海上作業(マダイ給餌機の餌補充、死魚回収、出荷用生簀への移動、遮光カバー外し)	片付け、修了モニタリング
7日目	営業部	商品積み込み、移動、ブース設営、販売	販売、片付け

生物資源学部 生物圏生命科学科 1年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

寒紅梅酒造株式会社

メーカー



theme

日本酒造りをととして ものづくりへの理解

Outline of practical training

日本酒ができるまでの作業工程にてどのようなことが行われるのか、顧客のニーズに応える戦略、今後の課題について考える。

comment

毎年、多くの学生に酒造りに参加していただいております。実際に、米を洗って水の冷たさを肌で感じてもらえているかと思えます。決して大きな企業ではないですが、どうすれば都会の大きな市場で戦えるのか、ひとりひとりがマルチな仕事をこなしていく姿を学んでいただき、学問と現場がつながるだけでなく、働くことの意義を感じてもらえればうれしいです。ここで得たことを大学生活だけでなく、今後役に立ててほしいと願います。

実習中に得られたこと

日本酒造りに携わったことで、日本酒への思い入れが変わりました。作業工程の中で、疑問に思ったことを受入企業の方に伺うと、丁寧にやさしく教えてくださり、興味関心が更に深まりました。そして、日本酒の事をもっと知りたいと思うようになりました。

実習を経て新たに発見できたこと

インターンシップに参加したことで、醸造・発酵食品への理解が深まりました。大学内では座学の学習が多い内容を、目で見て、触れて体験することで、理解が深まり、自分の学習している内容の重要性に気づけました。大学で行う学生実験では、試験管での反応をみるため、技術が製造現場で利用されているイメージがつきにくいですが、日本酒造りを通して、大きな現場で利用されている技術であることを肌で感じることができました。

■ 実習スケジュール

実習期間: 2017年2月10日(金)～3月31日(金)
実習日数: 50日間 実習地: 三重県

	7:00 - 12:00	13:00 - 16:00
2月	麴の成分調査・權入れ、翌日洗米分の米計測、蒸米	製麴、洗米
3月①	麴の成分調査・權入れ、酒粕・梅の袋詰め	上槽
3月②	麴の成分調査・權入れ、瓶詰め	瓶詰め、火入れ

工学部 分子素材工学科 3年 / 女性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company and group

エバ工業株式会社

メーカー

theme

海外インターンシップ

Outline of practical training

三重県に本社を持つ企業の海外拠点での実習および現地大学の見学と現地学生との交流

comment

特に高度な内容ではありませんが、製造業として必要不可欠な工程を実習して頂きました。普段経験のできない事です。ので良い思い出として残れば良いかと思います。皆さんを見て感じた事は、積極性に欠けるのではなく、引っ込み思案な所です。慣れてくれば積極性も見えました。失敗を案じず思った事、感じた事を行動してみる姿勢が若い時期には必要かと思います。一歩前に入る勇気をもって行動して頂きたいと思います。



実習中に得られたこと

日本では体験することのできない言葉の壁や労働集約型での運営、大規模な鑄造工場の見学などとても貴重な経験をさせて頂きました。工場では測定器の使い方やケガキなどを体験し、この会社の技術力の高さを実感しました。働いてみて感じたことは、説明を聞くのと実際に自分でやってみることは全然違うということです。簡単そうに見えても多くの技術、努力、アイデアが詰まっていると知ることができました。

実習を経て新たに発見できたこと

今回の研修で一番自分が反省したことは自主性の無さです。日本人は自分の意見をはっきり述べるというよりは、控えめで積極性に欠けています。今回海外インターンシップに参加して改めて自分から動かないと何も始まらないし、何も得られないと感じました。チャレンジ精神、また仲間とのコミュニケーションの必要性を痛感しました。この気持ちを忘れずに就職活動に生かしていきたいです。

実習スケジュール

実習期間: 2017年2月16日(木)~2月25日(土)
実習日数: 10日間 実習地: ベトナム

移動	セントレア⇒ハノイ、住友電装ハノイ研修
移動	ハノイ⇒タンロン⇒ハイフォン、三重金属工業研修
エクスカージョン	ハロン湾クルーズ
エクスカージョン	チャンアン・ホアビン観光
エバ工業 研修	計測器具の種類、使用方法の説明と訓練、ケガキ、穴あけ研修、鑄造における品質管理の業務実習
エバ工業研修成果報告会、現地の大学見学&交流	ハイフォン海洋大学、ハノイ工業大学 移動 ハイフォン⇒ハノイ
移動	ハノイ⇒セントレア⇒解散

工学研究科 物理工学専攻

修士 1年 / 男性

民間企業へのインターンシップ



Acceptance company
and group

株式会社 ノリタケカンパニー リミテド

メーカー

theme

砥石と研削加工の基礎習得 砥石の性能評価方法の体験

Outline of practical training

ノリタケで行っている4つの事業のうち、「工業機材事業」での実習です。工業機材事業とは…「切る・磨く・削る」という、製品の製造工程に欠かせない技術を扱う事業で、素材を高精度に加工し、自動車、鉄鋼、航空機、ベアリング、半導体など、様々な産業の技術開発を支えている事業です。今回は「研削加工」について実際に触れて体験・また頭を使って考えてもらい、ものづくりにおける「研削加工の重要性」について学んでもらいました。

comment

今回のプログラムでは基本的な研削加工の勉強・実習の後、他の学生とチームとなって実際に研削加工の試験を行い、評価・考察までを行ってもらいました。そのチームの中で〇〇さんは自身の考えや意見も発する傍ら、持ち前の傾聴力を生かし周囲の意見をまとめる役割を果たしていました。また、周囲の社員との積極的な交流に加えて安全に対する意識も高く、これから社会人として仕事をしていく上でも十分に活躍できる素質が見られていたと思います。



実習中に得られたこと

中々勉強できる機会の少ない研削砥石や研削加工について学ぶことができました。来年の就職活動が始まる前に業務内容について知り、一部を体験できたことは、自分の将来について、業界や企業だけでなく、実際に行う職務についてもより具体的に考える助けになりました。砥石にもIoTを取り入れたり、常に最新のニーズにこたえるべく研究されていることを伺い、将来どんな業界に入っても同じだと思うので、学生のうちから最新の話題には常に触れておこうという意識が高まりました。

実習を経て新たに発見できたこと

砥石メーカーと言えば、砥石の製造や販売をしているイメージでしたが、今回実習に参加させていただいた研削ソフト技術部の業務は、砥石の性能評価や顧客に向けた研削方法自体の研究、提案など、砥石メーカーを外から見た際には想像し辛い内容で、メーカー内における多様な業務の存在を知ることができました。最適な加工を行うには、条件設定等といった加工前の準備が非常に重要であり、実習を通して上手に削るためのノウハウの蓄積の凄さを感じました。

実習スケジュール

実習期間：2017年9月11日(月)～9月15日(金)
実習日数：5日間 実習地：愛知県

	AM	PM
1 日目	オープニング、ガイダンス、工場見学	研削砥石の講義・取り扱い実習
2 日目	研削実習①	研削実習①
3 日目	研削実習①	研削加工の講義・振り返り
4 日目	研削実習②	研削実習②
5 日目	研削実習②	クロージングミーティング

人文学部 文化学科 3年 / 女性

本学へのインターンシップ



Acceptance company and group

国立大学法人 三重大学 学務部 就職支援チーム

教育機関

theme

業界・職種・企業理解の促進
職業観・勤労観の涵養
学修の深化や新たな学習意欲の
喚起

Outline of practical training

- ・キャリア支援センター及び就職支援チームの業務内容及び業務目標の理解
- ・キャリア支援センター及び就職支援チームの課題解決方法の検討
- ・就職ガイダンスの準備(ガイダンス内容打合せ、資料作成、ポスター印刷)
- ・おしごと広場みえ(連携機関)及び合同説明会見学

comment

5日間の短い期間でありながら、キャリア支援センター及び就職支援チームの業務内容及び業務目標を理解し、友人等の意見を調査した上で、課題に対する解決方法を検討された姿勢を評価します。今後も、大学での学びや課外活動・日常生活の中で問題意識と課題解決の手法を磨いていただくよう期待します。



実習中に得られたこと

学内の就職関連の施設を見学したり、三重大学で行っている就職支援について職員の方々から説明していただき、三重大学での取り組みや目標・課題についてより深く理解することができました。職員の方々の働く姿を間近で見ることで、大学事務の仕事の様子を知ることができ、社会で働くということを身をもって経験することができました。また、窓口や外部の企業の方との打ち合わせの場などで対応されている職員の方々の、社会人としての言葉遣いや振舞いは大変勉強になりました。

実習を経て新たに発見できたこと

就職ガイダンスの準備や合同企業説明会の見学をさせていただいて、就職支援のために何が学生の役に立つかということを常に考えることが大切だと思いました。また、大学職員の仕事は、学生や教職員の方々のためだけではなく、地域の人々や外部の企業の方々とも関わる仕事だということを知ることができました。三重県内の就職率アップについて意見交換をさせていただき、大学での取り組みが大学だけでなく三重県全体の地域の発展にもつながっていくことを感じました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年9月15日(金)～9月22日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 16:00
1 MIE	大学全体の事務組織概要説明 キャリア支援センター及び就職支援チームの業務概要説明 施設見学、日経新聞スクラップ	キャリア支援センター及び就職支援チームの課題説明(県内就職率アップ等) 1日の振り返り
2 MIE	日経新聞スクラップ 課長との意見交換(県内就職率アップ)	パワーポイント作成(県内就職率アップ) 1日の振り返り
3 MIE	日経新聞スクラップ 電話応対(終日) ガイダンス打ち合わせ(株式会社ディスコより企業研究ガイダンス) 保護者説明会資料作成: ガイダンス時利用資料を作る	ガイダンス時利用資料を作る 1日の振り返り
4 MIE	日経新聞スクラップ 郵便物の受付業務(開封から仕分けまで) キャリア・ピアサポーター資格認定・SA雇用手続きを通して、事務の仕事を知る 後期ガイダンスポスター拡大印刷	後期ガイダンスポスター拡大印刷及び学内掲示 就活参考図書の貸出管理について考える 1日の振り返り
5 MIE	インターンシップ実習について報告書まとめ 就職支援チームにて経験したこと、インターンシップを通じて学んだことを発表用にとまとめる 実習についての報告会	おしごと広場みえ見学 三重県中小企業団体中央会 合同企業説明会見学

人文学部 法律経済学科 3年 / 女性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company
and group

津市 商工観光部

官公庁・団体

theme

観光、イベントに係る津市の
盛り上げ支援と産業、企業の
活性化支援を体験して
いただきます

Outline of practical training

商工観光部において取組む業務を座学で学んだ後、それぞれの部署において実際に業務に取組んでいただきました。市営駐車場の見学、サポート先の企業様の見学、企業誘致などサイエンスシティの見学など、市役所が関わる業務の多様性を学んでいただいた後、御殿場海岸のビーチバレーの準備、津まつりの準備に携わっていただき、仕事の難しさ、大変さと大切さを実感していただいたと思います。

comment

最初の概要説明では、聞きなれない用語などが出てきて戸惑われたかもしれませんが、非常に熱心に聞いていただきました。創業者支援の部署で事業者を訪問した時に、職員や事業者に対して積極的に質問をしていただきました。非常に前向きに取り組んでいただきました。また、Uターン促進奨励制度に関しては、現役学生の目線で熱心に意見を出していただきました。最終日のビーチバレーのイベントでは熱い中でも写真撮影に取組んでいただき、買い出しの台車で運搬も率先して動いていただきました。この熱心さや積極性は社会に出てもぜひ持ち続けてください。



実習中に得られたこと

津市商工観光部の、産業振興労政課、観光振興課、経営支援課、企業誘致課の4つの課を全て見学させていただいたので、津市商工観光部全体でどのような業務を行っているのかがとてもよく分かりました。外に出て行う業務が沢山あることを知りました。職場の雰囲気も感じる事ができたので良かったです。職員の方とお話した際には、民間企業との違いや、公務員の魅力、異動や他の部署の業務についても教えていただきました。

実習を経て新たに発見できたこと

公務員の業務と聞くと、窓口業務のイメージが強かったのですが、実際は窓口業務はほんの一部分で、デスクワークや外に出て行う業務の方が圧倒的に多いことが分かりました。また、2～3年に1回ほどのペースで異動があり、部署が変わると転職するのと同じくらい業務が変わると聞いて、非常に驚きました。また、若い職員の方にもしっかりと担当業務がついており、バリバリ働いていけそうだと感じました。女性の職員の方も沢山いらっしまったので安心しました。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月9日(水)～8月20日(日)
実習日数：7日間 実習地：三重県

	AM	PM
1日目	商工観光部全般について	駐車場関係
2日目	経営支援関係	経営支援関係
3日目	企画管理・労政担当	商業振興関係
4日目	企業誘致関係	企業誘致関係
5日目	観光管理業務	観光事業担当業務(イベント準備)
6日目	実習内容整理・レポート作成	工業振興関係(イベント対応)
7日目	観光事業担当業務(イベント対応)	観光事業担当業務(イベント対応)

人文学部 文化学科 3年 / 女性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company and group

三重県 総務部 行財政改革推進課

官公庁・団体

theme

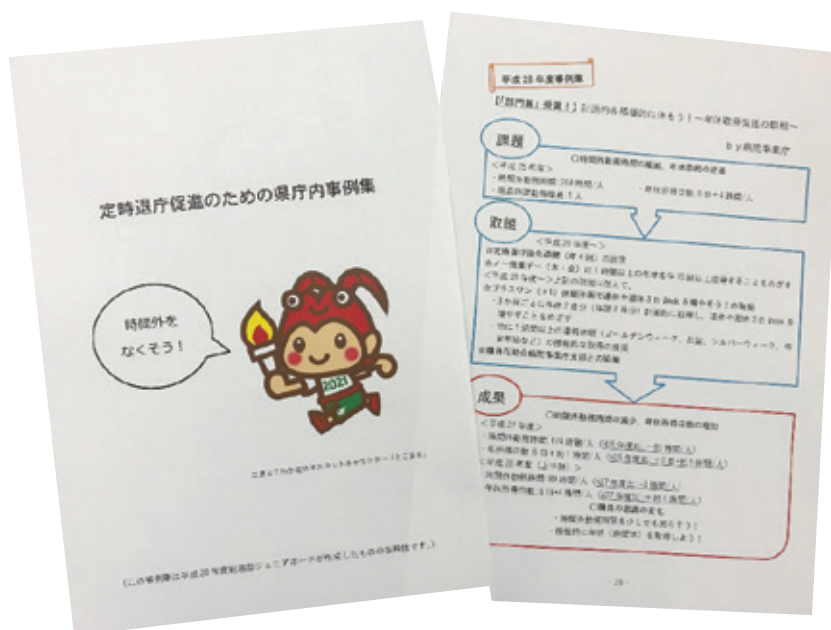
三重県における行財政改革取組 及びワーク・ライフ・マネジメント

Outline of practical training

定時退庁促進のための県庁内事例集の作成、県の改善改革取組の打合せへの参加、公益法人定期提出書類の確認作業ほか。

comment

三重県における行財政改革取組や、県職員としての業務について概ね理解できたと思います。職場に溶け込もうとする意識や規律を重んじる勤務姿勢、職員や外部の方とも進んで対話する積極性も十分に感じられました。就職に対する意識も高かったことから、今回の経験を生かしていただくことを期待します。



実習中に得られたこと

特に、知識を得られたと思います。業務に関する説明をしていただいたときに、どれだけ自分が無知であるのかを痛感させられたとともに、それだけ詳しく深い内容の業務をこなしているということに驚きました。また、実習中には、内線が何度もかかってくる時が多く、電話であったり実際に他の部署の方と会ったりして打ち合わせを頻繁に行っており、特に総務部は他の部署との連携が必須であることを改めて学びました。

実習を経て新たに発見できたこと

たくさん部署がある中で、その部署特有のものを廊下に飾ったり、三重県で行われるイベントがあるとそれに向けての宣伝など様々な形で、部署をアピールしていたことです。さらに知事室の近くには、重要度が高い、防災対策部や戦略企画部があり、すぐに知事が対応することができるよう設置してあることを知りました。また、ワーク・ライフ・マネジメントに関する冊子づくりでは、その部署ならではの仕事効率を図った案や、有給休暇をとりやすくするための案など、実際に成果がでたものやユニークなものが多く、仕事を含めてよりよい人生を歩むための考えを、職員のみなさんがだしやすい企画があることを初めて知りました。

実習スケジュール

実習期間：2017年9月4日(月)～9月8日(金)
実習日数：5日間 実習地：三重県

	AM	PM
1日目	オリエンテーション、課の概要説明、施設見学	定時退庁促進のための県庁内事例集の作成
2日目	改善改革活動の説明	総務部ジュニアボード打合せに参加
3日目	外郭団体関係資料の確認	県内企業等のワークライフバランス取組の説明
4日目	企業とのイクボス情報交換会に参加	県庁内スタンダードルールの設置作業
5日目	本庁人権研修(受付、受講)	公益法人定期提出書類のチェック 公益法人ホームページに関する調査

工学部 建築学科

3年 / 男性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company and group

愛知県 建設部建築局 公営住宅課

官公庁・団体

theme

建築事業の現場体験

Outline of practical training

- ・ 県営住宅事業等の事業計画、設計、積算業務に関すること。
- ・ 上記の事業の現場監理に関すること。

comment

10日間の短い期間でありながら、建替計画策定や現地確認・調査等を通じ、県営住宅整備事業の業務内容及び業務目的を理解しようと意欲的に取り組んでおり、与えられた課題に対しても課題解決のために熱心に質問を行う姿勢を評価します。今回のインターンシップでの経験が、実り多いものとなり、大学での学びや将来の職業選択の参考となることを期待します。



実習中に得られたこと

建替工事の現場を見せていただきました。施工の手順や安全管理のチェック方法を学び、業者の方々との打ち合わせに同席し、工事の進捗を肌で感じたことは貴重な経験でした。サービス付き高齢者向け住宅を見学したときは、現場実際に確認し、利用者の立場で考えることの大切さを感じました。また、愛知県の進めている事業、異動や福利厚生などについて職員の方々から直接教えていただくことで、県職員として働くことに対する理解が深まりました。

実習を経て新たに発見できたこと

県職員の責任や仕事のやりがいを知ることができました。建替計画の作成や居住者への対応などは地道な作業ですが、生活に最も重要な「住まい」を通して県民を支えています。官公庁特有の事情についても知ることができました。例えば、公平性・透明性を保つため、事業を進めるための手続きが煩雑になりがちであると分かりました。また、愛知県は製造業が発達しているため財政的に豊かなイメージがありましたが、意外と厳しいため、建替に伴い余剰地の売却を進めていることが分かりました。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月28日(月)～9月8日(金)
実習日数：10日間 実習地：愛知県

AM: オリエンテーション PM: 公営住宅課の事務概要について
公営住宅整備事業の概要について
建替住宅現地確認、設計内容確認等(場所: 名古屋市緑区 県営鳴海住宅)
建替住宅現地確認、設計内容確認等(場所: 豊川市 県営諏訪住宅)
住戸改善事業概要、設計図面作成等
住戸改善事業概要、設計図面作成等
長寿命化改善事業概要、設計内容確認等(場所: 名古屋市北区 公社大曽根住宅)
建替計画策定等
建替計画策定等
AM: 質疑・応答等 PM: 感想文作成・事後報告会

工学部 建築学科

3年 / 女性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company and group

三重県 県土整備部 建築開発課・営繕課

官公庁・団体

theme

建築行政、建築・開発許可・
検査、工事監理など

Outline of practical training

課内所管業務、所管法令等にかかるオリエンテーション。研修会への同行、議事作成の補助。工事現場への同行。建築確認申請書等の書類審査補助、職員との意見交換 ほか。

comment

非常に積極的に、課の業務に前向きに、興味を持って取り組んでいただきました。業務内容の把握が早く、完成度も高かったと思います。インターンシップ期間開始前の連絡やしっかりした挨拶など、職場でのコミュニケーションを取りながら、業務を的確に行おうとする姿勢が感じられました。今後は、インターンシップでの経験や、自分の能力を最大限に生かしていただくことを期待します。



実習中に得られたこと

建築開発課での業務の中で、現場に同行した際に、実際に施工中の建物の点検や進捗状況の確認の様子を見ました。ここでは、多くの現場の方々とコミュニケーションをとりながら、確実にその建物が安全に建てられていることを確認し、責任を持って隈なく点検するという真剣な姿勢が伝わってきました。私は、そこに公務員という職業の偉大さを感じました。公務員と一口に言っても漠然としており、なかなかその実態を知ることは難しいです。しかし、今回の実習で、県庁という組織の中身だけでなく、業務とはどういうものなのかを肌で感じ、考えられたことが私にとって大きな経験でした。

実習を経て新たに発見できたこと

公務員という仕事は、実際に経験してみると、思っていたよりも現場へ出向いて多くの方々と協力して業務をこなす機会が多いように感じました。私のはじめのイメージでは、庁内でのデスクワークをはじめとする書類関係の処理が主な業務だと考えていましたが、実際は私がお世話になった建築開発課では現場での業務が多く、様々な立場の方とコミュニケーションをとりながら進めていくことが多かったことはとても意外でした。他にも、実際に庁内に入り業務を体験することで多くの発見がありました。自分の目で見て確かめることは、進路選択にとって大きな材料となると感じました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月17日(木)～8月23日(水)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	AM	PM
1日目	課内、建築開発業務のオリエンテーション	宅建業閲覧図書の個人情報削除業務
2日目	建築基準法の概要等説明 宮城県等へ派遣職員の報告会	三重県建築行政会議研修会
3日目	三重県建築行政会議研修会の記録作成	開発許可物件の完了検査同行
4日目	工事現場同行(伊勢陸上競技場ほか)	同左
5日目	建築確認申請書等の書類審査補助	職員との語らい、インターンシップ記録作成

生物資源学部 資源循環学科 3年 / 女性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company
and group

林野庁 近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所

官公庁・団体

theme

森林・林業の現状と林野庁の
業務について、実践を通じて
知っていただく

Outline of practical training

当事務所では、県内に所在する国有林の
森林整備、管理、木材生産、山地災害復旧
の各事業と、それらに付随する総務を
行っており、これら各業務に従事いただ
くとともに、より理解しやすくなるよう、現
場の視察も交えた内容としました。

comment

5日間の短い期間に幅広い業務を体験、
従事していただきましたが、業務に当たっ
ては積極的に提案し、議論を引っ張りな
がらも、もう一人のインターンシップ生と
協調し、明るい雰囲気の中でアイデアを形に
していく姿勢を見させていただきました。
また、現場での作業には危険が伴う部分
がありますが、担当職員の指示に従い、安
全に作業できていたと報告を受けてお
り、理解力なども評価できる点と考えてお
ります。今回の体験が、今後の学習や研
究の中で活かされれば、あるいは将来を
考える上での一助になれば幸いです。



実習中に得られたこと

職員さんが仰っていた「自分でもわから
ないことがたくさんある。それぞれよく
知っている分野・得意な分野があるから
お互いサポートしながら仕事をしている」
という旨の言葉が印象に残っています。
公務員の勉強は全範囲を満遍なくやるた
め実感が湧きにくいですが、一人が何で
も、どの分野でもできるわけではない(も
ちろん幅広く能力があるに越したことは
ないですが)ということを改めて感じまし
た。またそのように双方助け合うため
にもコミュニケーション能力は欠かせない
と思いました。対外部ですが、対内部の
方が機会も多く大切に見えました。

実習を経て新たに発見できたこと

「林業」というと森林のパトロールや樹
木の調査などの仕事はイメージしやす
かったのですが、今回のインターンシ
ップで子供向けの体験学習や、治山など
砂防の方面、また事務作業の内容など
様々な分野の業務を知ることができま
した。普段公務員の仕事を知る機会
は少ないですし、ホームページなどを見
て知っただけであるのと自分の目で見て実
際に体験したのとでは印象も違います。
少しでも興味があれば一度インターン
シップに参加することをお勧めします。

実習スケジュール

実習期間: 2017年9月11日(月)～9月15日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 奈良県

	8:30 - 12:00	13:00 - 17:15
1日目	職員紹介・所内オリエンテーション、文書管理について、文書管理システムの概要、文書作成、旅費及び旅費システムについて	森林環境教育のための下見、準備、森林環境教育用資料作成
2日目	森林の現状、林野庁と国有林、森林管理局と奈良での取組み、森林環境教育用資料作成	事務所ホームページ用原稿作成
3日目	森林パトロールほか	被害木調査結果取りまとめ
4日目	山地災害箇所視察、森林官の業務について	山地災害箇所視察
5日目	病虫害被害木調査	被害木調査結果取りまとめ、事務所ホームページ用原稿作成、実習終了、職員挨拶

生物資源学部 資源循環学科

3年 / 男性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company and group

津市 環境部

官公庁・団体

theme

普段あまり目にしない、
津市を縁の下から支える仕事を
知っていただき、
体験していただきます。

Outline of practical training

環境部において、全体の概要を座学で学んでいた後、リサイクルセンター、クリーンセンターなど各施設を見学していただきました。不法投棄の現場見学や実際のゴミ収集体験を通じて、環境を守ることの大変さと大切さを実感していただいたと思います。また、新エネルギーに関することを学び、環境フェスなどのイベントにも関わっていただきました。

comment

職員の説明を熱心に聞いていただきました。ゴミ収集体験は大変だったと思いますが、ゴミを出す立場と集める立場の両方を経験することによって、ゴミ問題を知識だけでなく、体感していただけたのではないかと思います。体力仕事だけでなく、頭で考える仕事にも携わっていただきましたが、疑問を抱いた部分や興味を持った部分について積極的に質問していただきましたし、自分の考えをしっかりと伝えるなど、熱心に取り組んでいただきました。



実習中に得られたこと

インターンシップを通して、様々なことを学んだり経験することができた。例えば、普段の大学生活では比較的歳の近い人と話す機会が多く、歳の離れた方と話す機会はほとんどない。そのような中、大人数の前に立って挨拶を何度もしたり、業務をしたりするということは今までにないことだったのでいい経験となった。また、歳の近い方もいたのでなぜ市役所に勤めようかと思ったのかや日々の業務の雰囲気など普段あまり聞くことができないような内容を聞いたりすることができてよかった。

実習を経て新たに発見できたこと

実際に、ゴミ収集車に乗ってゴミを収集して回ったが、ここまできついものだと思っていなかった。可燃ゴミの日だったので、そこまで重いものはないだろうと思っていたが、生ゴミが多く非常に重かった。また、夏だったので季節的に水分を含んだものも多かった。しっかり水分を切ってゴミを出してほしいという理由が実際にゴミを収集することでもわかった。これからは、ゴミを出すときは水分をしっかり切るだけでも重さがかなり変わってくるので気を付けたい。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月21日(月)～8月25日(金)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	AM	PM
1 時	環境部概要説明・企画管理担当事務補助	資源循環担当業務補助・環境学習センター見学等
2 時	ゴミ収集実地体験	ゴミ収集実地体験
3 時	環境共生担当事務補助	環境共生担当事務補助
4 時	施設見学	施設見学
5 時	環境保全担当事務補助	環境保全担当事務補助

生物資源学部 資源循環学科

3年 / 男性

官公庁へのインターンシップ



Acceptance company
and group

三重県 農林水産部 フードイノベーション課

官公庁・団体

theme

三重県農林水産部 フードイノベーション課業務の 実習

Outline of practical training

課内所管業務にかかるオリエンテーション。三重ブランド事業者への現地訪問・意見交換。大規模園芸施設やゴマ栽培圃場の視察、イベントへの同行。課内業務の実習 ほか

comment

当課の業務は、直接事業者と接することが多く、内容也多岐にわたる中、研修では、三重ブランド事業者への現地訪問と、意見交換、大規模園芸施設やゴマ栽培圃場の視察、熊野地鶏食味試験や新商品発表会イベントへの参加とともに、庁内事務を体験してもらいました。期間中、時間厳守、身だしなみ、挨拶のほか、どの研修においても興味を持って積極的に取り組んでいました。これからも、積極性を失わず伸ばしていただきたいと思います。さらに、今回の経験を職業選択に役立てていただくことを願っています。



実習中に得られたこと

三重県がなぜ、フードイノベーションに力を入れているのかという理由を聞くことが出来た。また、三重ブランドとは何か、三重県がどのように三重県の食材をPRし、県外に販売していくのかというマーケティングの部分を知ることが出来た。そして、フードイノベーション課の職員の方々がどのような思い・意思をもってプロジェクトを担っているのかということを知り、自分自身のモチベーションにつながるものが得られた。

実習を経て新たに発見できたこと

履修している講義において、生産者の方へのヒアリングや消費者を対象にした食味調査を行うが、今回の実習を通じて、それぞれに関するよりよい手法を改めて発見することが出来た。また、なぜ行政職を志望するのか、公務員を第一志望にする理由は何かという就職活動につながる大切な要素を発見することが出来た。そして、実際にインターンシップをさせていただくことにより、インターネット上ではわからないことに気づけた。

実習スケジュール

実習期間：2017年8月21日(月)～8月25日(金)
実習日数：5日間 実習地：三重県

1日目	課内取組事業説明、大規模園芸施設視察等
2日目	課内業務関係資料作成、三重ブランド事業者現地訪問等
3日目	課内業務関係資料作成、熊野地鶏食味試験等
4日目	課内業務関係資料作成、三重ブランド現地訪問等
5日目	課内業務関係資料作成、新商品発表会イベント参加、ゴマ栽培圃場視察等

生物資源学部 資源循環学科

3年 / 男性

農業就労の促進事業インターンシップ
(有償型インターンシップ)



Acceptance company
and group

中山農園

農業

theme

野菜の栽培管理・農業経営

Outline of practical training

なすの支柱立て、除草、害虫防除及び収穫。キャベツ、レタス、種まき、育苗管理、定植作業。きゅうりの収穫、とうもろこしの定植、いちじくのせん定等。

comment

期間が短すぎたので、ほとんど栽培管理も経営も理解できなかったと思うが、農業は、今日種を播いて明日できるものはないにひとつない。早いもので約1ヶ月、遅いものでは10ヶ月ぐらいかからないと収穫することができない。そのうえ、気象条件や雑草の生育等により、確実に収穫することができないのが農業です。その過程の一部をみてもらい、暑い中体験していただいたことを今後に生かしてほしい。また、農業に関連する職業を選んでもらいたい。残り少ない学生生活を有意義に過ごして下さい。



実習中に得られたこと

実際に作業をすることで、学問としてインプットされた知識と統合し、より深い理解につながりました。また、少ない時間で多い作業をこなす為には、今自分が置かれている環境と今までの経験と知識から最も効率の良い選択をすることが重要だと感じました。離れた場所に畑があったり、作業によっては1人ではできないこともあったので、それらを上手くカバーするためには働き手の連携が必須だと思いました。農作業自体は初めてだったということもあり想像よりずっと大変でした。しかし、少しでも良いものを作ろうと必死になっている人たちの中で共に働くことで、社会人としての自覚を持つことができました。

実習を経て新たに発見できたこと

このインターンシップでの1番の収穫は農業という仕事を体験できたことです。3Kと言われている農業に対し実際に体験することでしかどれくらいきついのか、またどこにやりがいを感じるのかは分からないと思います。また職場の雰囲気や仕事の流れ、従業員間での意見交換、地域間でのコミュニケーションなど、経験を通してでしか得られないものがあり、それらは今後農業に携わり働く上でとても大切になってくると思います。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月12日(土)~8月25日(金)
実習日数: 10日間 実習地: 三重県

8月12日	露地なす支柱立て、除草作業
8月13日	ハウスきゅうり収穫、せん定作業
8月14日	とうもろこし定植作業
8月15日	レタス、キャベツ種まき作業
8月16日	なす、きゅうり、トマト収穫作業
8月17日	育苗ハウスかん水作業、いちご採苗作業
8月18日	いちじくせん定、収穫作業、なす圃場除草作業
8月19日	キャベツ定植作業
8月20日	なす圃場除草作業
8月21日	なす害虫防除、キャベツ本圃かん水作業

人文学部 文化学科 3年 / 女性

団体インターンシップ



Acceptance company
and group

公益財団法人 三重県労働福祉協会 (おしごと広場みえ)

官公庁・団体

theme

若年者就職支援の現場を
知ることで、その目的や意義を理解
する。(おしごと広場みえ業務、
イベント運営)

Outline of practical training

おしごと広場みえ…おしごと広場みえ受付
業務、予約等の電話対応、就職支援セミ
ナーの運営、Excelでのチラシ作成、アン
ケート集計、就職内定者メッセージの掲示
「みえリーディング産業展」…イベントブ
ースの設営、見学ツアーの準備・ツアー参加、
交流イベント「先輩が語る三重県企業へ
の就職」参加

合同企業説明会「若者応援就活フェア」…
設営、資料準備、求職者受付、誘導、案内、
アンケート回収、片付け、アンケート集計

comment

8日間の短いインターンシップでしたが、
たとえ短時間でも積極的に若年者の就
労支援についての業務内容を吸収しよう
とする姿勢が見受けられました。また
様々な業務の中で、責任感を持ちつつ、楽
しみながらそれぞれの作業をこなしてい
たという印象を受けました。おしごと広場
みえ受付業務や電話対応、合同企業説明
会の求職者受付など、常に明るくはきは
きと対応したり、見やすく、分かりやすい
チラシ作成など、求職者目線で取り組ん
でいただきました。職員とも積極的に交
流する姿が見受けられました。



実習中に得られたこと

一瞬一瞬、たくさんの方々との出会いを
通じて、労働や社会について豊かな知識
を得ることができました。インターン
シップでは、「就職、労働」に関わられて
いる方々、具体的には現在就職活動中
の先輩方、民間企業の方々、県職員の方
々、労働局の方々、おしごと広場みえ
のコーディネーターの方々など、本当に
たくさんの皆様とお話しさせていただく
ことができました。労働を行う、依頼す
る、支える皆様とのお話をもとに、多角
的な視点から労働や社会についての理
解を深めることができました。

実習を経て新たに発見できたこと

働くことの重要さ、難しさを再認識しました。
ある人が、こちらの仕事をする。別のある人
が、そちらの仕事をする。当たり前のことも
かもしれないけれど、その一つ一つの仕事の積み
重ねが、一つの組織をつくりあげていて、また
その組織がたくさん積み重なって一つの大き
な社会が成り立っているということに気づか
せていただけました。そして三重県内に、たく
さんの魅力あふれる企業があり、その一つ一
つが三重を支えているということを実感さ
せていただけました。また働くことの大切さ
を知るとともに、その難しさも知りました。し
かしたとえ難しくても、それをサポートして下
さる体制、そして温かい皆様がいて下さると
いうことも知りました。これから私自身、「働く
こと」と真剣に向き合っていきたいです。

実習スケジュール

実習期間:2017年8月4日(金)~12月7日(木)
実習日数:8日間 実習地:三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 17:00
1 実習1	「若者応援就活フェア」の会場設営、資料準備	「若者応援就活フェア」の求職者受付、誘導 職場見学バスツアー案内、片付け
2 実習2		おしごと広場みえ受付、電話対応
3 実習3	おしごと広場みえ受付、電話対応	おしごと広場みえ受付、電話対応 「企業の魅力発見フェア」チラシ作成
4 実習4	おしごと広場みえ受付、電話対応 「企業の魅力発見フェア」チラシ作成	受付、電話対応
5 実習5	模擬集団討論会のセミナーの設営、運営 アンケート回収、片付け	
6 実習6	「みえリーディング産業展」イベントブース設営 産業展出展企業見学ツアー参加	交流イベント「先輩が語る三重県企業への就職」参加 おしごと広場みえブース・イベント会場の片付け
7 実習7	「若者応援就活フェア」設営・資料準備	
8 実習8	おしごと広場みえアンケート集計、掲示	

人文学部
文化学科
3年 / 女性

団体インターンシップ



Acceptance company and group

公益財団法人
三重県文化振興事業団

官公庁・団体

theme

施設利用サービスセンターに
おけるお客様対応と
施設の安全管理

Outline of practical training

県民団体や学校、一般のお客様へのホールや会議室の貸出・運営、イベント運営の設営・撤去等フォロー、事務。

comment

大ホールを利用した音楽コンクールのお客様対応を担当してもらいました。お客様を迎え入れる手順や心構え、そして何よりも大切な安全管理についての説明を行いました。またホールの吊物や床下の構造など普段お客様からは見えない重要な設備を見学してもらいました。〇〇さんは何事にも真面目に取り組んでいて、しっかりしている印象を受けました。これから仕事をしていくうえで人に質問したりコミュニケーションを取ったりと、積極的に人と関わる意識を持つとさらに良いと思います。



実習中に得られたこと

利用者の視点ではなく、施設を貸出する側の視点からイベントの運営を見ることができました。利用者だけでなく、業者とのやり取りも多く、人とかかわりが重要な仕事であるとわかりました。実際の現場を見ることができ、どのような仕事があるか、以前より知ることができました。そして、現場の方々を見ることで、その仕事のやりがいなども見つけられたと思います。実習の中で、現場の方からもその分野についての話を聞くことができ、理解が深まりました。

実習を経て新たに発見できたこと

多くの情報を把握し、施設の利用時間などを管理して気を配る必要があるということがわかりました。その場その場で変更事項も多いため、臨機応変に動き、情報共有をしっかりと行うことが求められるということが発見できました。また利用者が使いやすいと思うようなサービスや対応をしていくことを心がける必要があるということがわかりました。それだけでなく、事務仕事が多いような印象を受けていたのですが、思っていたよりも実際に動いていくことが必要になると感じました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月25日(金)～8月27日(日)
実習日数: 3日間 実習地: 三重県

1 日目	AM:オリエンテーション、施設見学 PM:実習形式にて公共ホール、会議室の貸し出しや運営等
2 日目	貸出施設の開錠施錠管理、利用者の迎え入れ、来客対応、事務作業
3 日目	貸出施設の開錠施錠管理、利用者の迎え入れ、来客対応、事務作業

人文学部 法律経済学科

3年 / 男性

NPOインターンシップ



Acceptance company
and group

NPO法人体験ひろば こどもスペース四日市

各種団体

theme

子どもの体験活動や子育て支援
現場でのスタッフ補助および
NPO活動についてのレクチャー

Outline of practical training

当団体では「子どもの権利」を大切にすることを基本理念として、様々な体験活動や子育て支援事業を展開しています。実習では、その現場をできるだけ体験していただき、子どもや保護者との関わりや社会的な問題について、肌で感じていただくことを大切にしています。また、日々、多くのボランティアが行き交い活動を支えている事務所での仕事、理事長からのレクチャーなどを通して、仕事としてのNPO活動について知っていただきたいと思います。

comment

常に自然体で人と関わり、素直に接する様子が印象的でした。「社会福祉」に関わる仕事に興味があるということでしたが、普段の生活では社会と関わる機会が乏しいことがうかがわれました。今回の実習で子どもと実際に関わったり、現在進行形の社会的な問題について学ぶ中から、自分の目で課題を見つけて将来の仕事につなげていただければありがたいと思います。



実習中に得られたこと

NPO法人で働く事についてイメージを持つ事ができました。企業にはまだ行った事が無いので単純な比較はできないのですが、全員で活動を行っているという印象を受けました。ここでは昔の利用者だった人が今は職員で働いている等、企業とはまた違った一面があると感じる事ができました。その1つとしてNPO法人は目的をはっきりさせないといけないという事を理事長からお話を頂きました。一人ひとりの職員の方がフラットな関係性の中で仕事をされている事も知る事ができました。

実習を経て新たに発見できたこと

お仕事をされている方が全員女性で、こういった活動をされているのは女性が多いのかなと漠然と思いました。ただ、「トムソーヤの森の家」ではキャンプの最中も子どもさん達と遊具遊びや工作などをしているという時には男子があるという事と助かるっていただいたのは新発見でした。そういった面でも1つの活動団体ないし企業が自分の内だけで固まるのではなく、他団体と関わっていく事が重要と実感できました。又、子どもさんと触れ合う中で彼らの関心は多岐にわたっているので、それらに対応していく事の重要性を実感できました。

実習スケジュール

実習期間: 2017年9月2日(土)~9月22日(金)
実習日数: 4日間 実習地: 三重県

	AM	PM
1 日目	四日市市長と市民活動団体との子育てについての意見交換会に参加	社会的養護の社会化フォーラム事前企画 「里にきたらええやん」映画会のスタッフ
2 日目	事務所での事務作業補助	
3 日目	小学生の自然体験活動「トムソーヤの森の家」スタッフ	
4 日目	高校生と乳幼児親子のふれあい体験事業でのスタッフ	当団体理事長よりレクチャー (子どもの権利、NPO活動について)

人文学部 文化学科 2年 / 女性

留学生インターンシップ



Acceptance company and group

北伊勢上野信用金庫

金融

Outline of practical training

- ・日本の企業風土の理解、及びビジネスマナーの習得。
- ・信用金庫の三大業務、預金・融資・為替の他、現在の金融情勢、信用金庫が地域金融機関として果たすべき役割の理解。
- ・投資信託やインターネットバンキングなど、提供する商品やサービスの理解。
- ・紙幣勘定の練習、営業店事務、窓口業務を通じて、営業店実務を体験。
- ・地域訪問や企業訪問を通じて、信用金庫の営業・取組みを体験。

comment

今回のインターンシップでは、前半の2日間は信用金庫の業務にかかる研修、後半の3日間は営業店内での実務や取引先企業訪問の実務体験を行いました。何れも大変意欲的に取組まれ、積極的な質問や自身の感じたことを発言するなど、日本の企業文化を学びたい、金融機関の知識を深めたいとの強い熱意を感じました。今後の大学での学びや就職活動において、今回のインターンシップで経験されたことが役立ちますよう期待しています。



実習中に得られたこと

北伊勢上野信用金庫のインターンシップに参加したことで、金融業に対して初めてしっかりとした認識ができた。金融機関は単に預貯金を扱うだけではなく、企業や個人等いかに資金を増やしてもらうかがその存在意義だと思った。また「挨拶」を基本とするビジネスマナー研修および日本企業の文化や雰囲気も体験でき、実際に窓口に立つこともできた。将来は金融業に携わるチャンスがあるとは限らないが、五日間のインターンシップで積み重ねた経験はどの職業においても活かせるに違いないと思う。

実習を経て新たに発見できたこと

五日間のインターンシップを通じて金融業の知識を習得することができた。生活のあらゆる場面において金融機関は欠かせない存在であるため、金融知識を知ることには損はないとつくづく感じた。そして、信用金庫は、中小企業と取引関係を築いて、地域の活性化に力を入れている。お客様に付加価値を提供することや、力を「生かす」ことが重視されているということがよくわかった。

実習スケジュール

実習期間: 2017年8月23日(水)～8月29日(火)
実習日数: 5日間 実習地: 三重県

	AM	PM
1 日目	オリエンテーション、館内案内 信用金庫とは お札勘定の練習	預金業務 融資業務
2 日目	組織体制・金融情報 ビジネスマナー	投資信託 インターネットバンキング
3 日目	営業店体験(本店営業部)	
4 日目	地域訪問(伊賀市)	企業訪問(工場見学)
5 日目	企業訪問(事業先見学) ジュニアクラブデーキャンプ	館内挨拶 まとめ・終了の挨拶

— 研修・実習 グループ報告

特定医療法人障純会 津ファミリークリニック	46
高茶屋診療所	47
社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院	48
三重県総合博物館	49
神戸市立須磨海浜水族園	50
三重県立久居農林高等学校	51
和歌山県立向陽高等学校	52
津市立栗真小学校	53
津市立白塚小学校	54
津市立一身田中学校/教育学部附属中学校	55
津市立橋北中学校/教育学部附属中学校	56

医学部
医学科
1年 / 男性
医学部研修



Acceptance company and group

特定医療法人暁純会
津ファミリークリニック
医療・福祉施設

theme

医療と社会

Outline of practical training

1日目…市内の高齢者住宅に同行し、当院から訪問診療を行っている患者さんの診察を見学する。
2日目…当院での外来を見学。内科・小児科・婦人科を標榜しており、老若男女問わず診察を行っている。

comment

目の前にいる患者さんのみならず、その背景にある家族や社会状況を想像してもらいながら実習を行っています。高齢者施設では、医師のみならず訪問看護、介護士、ケアマネジャー、デイケアスタッフなど、実際に多職種が関わってケアを行っている現場を見学してもらいます。実習を通じて、医師のプロフェッショナリズムとは何かを感じて頂けたらと考えています。



実習中に得られたこと

老人ホームで医師と入居者とのやり取りを聞いて、病状を把握する上で血圧を測ったりという治療だけでなく、入居者自身に最近起きた出来事、または家族の関係性といった身の話を理解することが非常に重要であるとわかった。また、身の話を元に、ベッドから転倒する危険性がある人には、ベッドを低くして落ちないように周りを柵でかこい、通路に手すりを新たに付けるといった、未然に大きな怪我を防ぐことができるような工夫がされていた。

実習を経て新たに発見できたこと

医師のプロフェッショナリズムとは、常に患者さんのことを考えて働くことだと思っていたが、そのことよりも患者さん、医師、看護師などの様々な視点を持つことが大切であることに気づいた。老人ホームの入居者一人一人に対して医師と看護師だけでなく理学療法士やケアマネジャー、介護福祉士など想像以上に多くの人が関わっており、医師を中心としてリハビリの面、介護保険の面、そして医療の面から多角的に入居者が満足できるように話し合いがあることを知って、医療は多くの人の助けがあって初めて成り立つものだった。

実習スケジュール

実習期間: 2017年6月16日(金)・7月7日(金)
実習日数: 2日間 実習地: 三重県

1 目 目	老人ホームでの訪問医療の見学
2 目 目	津ファミリークリニックで行われる外来の見学

医学部
医学科
5年 / 女性
医学部研修



Acceptance company
and group

高茶屋診療所

医療・福祉施設

theme

クリニカルクラークシップ
家庭医療

Outline of practical training

地域住民のニーズに合うプライマリ・ケア、家庭医療を知り、チームのメンバーとして家庭医療を体験し、医療の基本的知識と手技を再確認する実習です。地域に密着した高茶屋診療所だからこそできる患者や家族などの背景を踏まえたプライマリ・ケアを学び、継続的な診療を可能にする良好な患者医師関係の構築、病診・診診連携、多職種協働を体験し、家庭医療や地域医療を学びます。

comment

単なる見学だけではなく、自ら問診をとり、その後医師と一緒に診療することで自分に足りないことを日々学んでいる姿が印象的でした。診療所外の活動も積極的に、地域住民に対する健康講話も自ら志願して「ロコモ（ロコモティブシンドローム）」について話してくれました。中間での他職種からの360度評価でも積極的な姿勢が高評価でした。また最終日の振り返りでは、ケアマネ、薬局、訪問看護、訪問リハなど他職種実習で、他の職種の仕事ぶりを見るだけでなく、診療所との連携や同じ患者さんが診療所の外で見せる違った顔をよく捉えていることが伝わってきました。



実習中に得られたこと

診療所での実習では、指導医の先生の外来をただ見学するだけでなく、先生の問診の前に自分一人で患者さんに問診をとる機会が与えられた。問診をとったあとは内容をカルテに記載してまとめ、指導医にプレゼンし、指導医からフィードバックをもらうことで自分の問診で不足していた点や、患者から情報を上手く引き出すコツなどを学んだ。また、隣接する介護施設でトロンボーンの演奏をする機会や、地域の方々に向けて健康講話をする機会もいただけて、医療の枠にとらわれず幅広く地域住民と関わる事ができた。

実習を経て新たに発見できたこと

今回の実習を通して、診療所内のスタッフ間の連携が重要であるということを強く感じた。午前・午後の診療が終わった後にはスタッフ全員が集まり、気になる患者について情報を共有し、議論していた。待ち時間や検査のときに看護師が患者から得た情報や、会計で事務員が交わしたやり取り、隣接薬局で患者が話したことなどを医師のもとに集約させることで、より患者について深く理解することができる。医師による診察時間は限られているが、このような連携によって1人1人の患者に合わせたより適切な医療を提供することができると思った。

■ 実習スケジュール

実習期間：2016年3月28日（月）～4月20日（水）
実習日数：17日間 実習地：三重県

	AM	PM
1	外来実習、心音・呼吸音聴診	今後の研修スケジュール相談、医療部全体会議
2	外来実習、採血見学	訪問診療（認知機能の評価）、外来実習・問診見学
3	外来実習	外来実習、問診
4	外来実習、問診、胃カメラ見学	訪問診療
5	外来実習、問診	訪問診療、採血練習、問診、採血
6	デイサービス実習、デイサービスでの利用者さんのバイタルサインチェック	
7	外来実習、問診	訪問診療実習、採血、外来実習
8	外来実習	外来実習、問診
9	外来実習、問診、採血、心電図	訪問診療、高齢者総合評価実施
10	外来実習、問診	近隣の親子カフェでの健康講話へ同行
11	外来実習、問診	往診、訪問診療、外来実習、問診、レントゲン介助
12	外来実習、問診、採血	外来実習、予診、レントゲン介助
13	健康教室	老人保健施設見学、訪問診療
14	訪問看護	訪問リハビリテーション
15	健康講話打ち合わせ、準備	健康講話、カンファレンス
16	外来実習、採血、実習振り返り	健康講話同行、外来実習、問診、レントゲン介助
17	問診、外来実習、薬局実習	問診、外来実習、採血、心電図

医学部 看護学科 4年 / 女性

医学部研修



Acceptance company and group

社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院

医療・福祉施設



theme

統合実習Ⅰ

Outline of practical training

内科病棟を中心に実習を行いました。病棟では、チームの一員としての病棟看護師の役割を学ぶため、シャドウイングを行いました。また、対象者が退院後に安心して療養していただけるように、病棟でのカンファレンス、多職種を交えてのカンファレンス、地域を巻きこんでのカンファレンス、そして実際に対象者の生活の場に同行訪問しました。

comment

地域の急性期病院における役割を十分認識していただきました。最終カンファレンスにおいて、「大学病院と地域の急性期病院との違いについて」をテーマに熱心に話し合われました。その中で、生活の場に戻り病を持ちながらも「その人らしく」を支援することの重要性を学ばれました。チーム医療については、各専門職が垣根なく協働し対象者の情報を共有していたことも学んでいただきました。看護の場面以外にも、当院の特徴として職員間のコミュニケーションがよいことにも関心を持っていただきました。

実習中に得られたこと

緩和ケア外来や糖尿病患者のフットケアなどの看護場面に参加し、専門看護師等のスペシャリストから患者への関わり方を学ぶことができた。緩和ケア外来の看護師は、患者の傍らに座り、患者の方を向き、自分が話をしている時でも患者が話したら、自分は話すことをやめ、患者の言葉をゆっくりと聞く姿勢に変え、親身になって話を聞いていた。また、フットケアの看護師は患者に「～してください」という形ではなく、その人が自ら行動できるように、生活に組み込めるようなケアを提案し、言い方を変えて説明していた。自分が看護師になったときに大切にしたいと思うことを学ぶことができた。

実習を経て新たに発見できたこと

3年生までは大学病院での実習が主で、1人の患者を受け持つ体制の実習であったため、チーム医療や退院支援の現状については殆ど知る機会がなかった。今回の実習では、地域社会により近い病院での看護を体験することができ、チーム医療や退院支援での「情報共有」の重要性に触れることができた。情報共有が重要なことは知っていたが、医療現場で情報共有の難しい場面を目の当たりにし、その重要性が強調される理由が理解できた。情報は一方的に提供されるだけでは意味がなく、共有することが必要なのであり、「誰のための」「何のための」情報共有なのかを吟味することが必要なのだったと思った。

実習スケジュール

実習期間:2017年6月26日(月)～7月7日(金)
実習日数:10日間 実習地:三重県

	AM	PM
1	学内	14:00～ オリエンテーション
2	10:00～ スタッフ	NST 13:30～17:00
3	退院支援	退院支援
4	午前大学	WOC ～17:00
5	9:00～ 糖尿病	嚥下 14:00～17:00
6	9:00～ 緩和外来	リーダー
7	リーダー	緩和ラウンド
8	スタッフ	13:00～14:00 済生会 14:30 明和
9	帰校日	
10	訪問 8:30 集合	反省会

生物資源学部 生物圏生命科学科

4年 / 男性

博物館実習



Acceptance company
and group

三重県総合博物館

研究・教育機関

theme

実際の博物館の現場で
学芸員の指導の下、
博物館の業務を体験し、
学芸員として必要な技術や
心構え、業務などを学ぶ。

Outline of practical training

学芸員資格を取得するにあたり学芸員の
実際の業務を体験する。業務内容は実習
を行う博物館や担当する学芸員によって
異なり、今回の担当となる学芸員の専門
分野が植物と昆虫だったため、植物標
本・昆虫標本の作成、ラベルの作成、寄贈
標本の選別や整理、博物館行事で学術指
導をする学芸員の補助など、収蔵庫内の
作業と来館者への対応の双方の業務を
体験した。

comment

博物館と一口でいっても、館によっても分
野によっても業務はさまざまです。どのよ
うな仕事でも、外から見える仕事と中か
ら見える仕事の差があります。この博物
館での経験を直接活かすだけではなく、
外から見える仕事と実際の仕事の差を、
想像できる人材となってください。



実習中に得られたこと

学芸員の業務といっても多彩で、ひたす
ら標本の整理を行う根気や展示の技術
だけではなく、来館者や研究者への対
応、広報のためのマスメディア対応、博
物館運営に関わる様々な雑務、学習支
援活動を含む、地域への貢献、さらに集
めた標本を活用した研究といった、幅広
い技能が必要なることを体感しました。今
回の実習では博物館の具体的な業務の
他、仕事に対する向き合い方を学べたと
思います。

実習を経て新たに発見できたこと

今回の実習で博物館の利用について気
づいたことがあります。博物館の利用に
ついて、実習前の感覚では展示室の見学
のみで、あとは研究者が必要な標本を貸
し出してもらうなどといったイメージで
した。しかし今回の実習で、昆虫採集道
具の貸し出しや実践的な実習(標本づく
りや観察)など、市民が学術活動を行う
のを支援していることを知り、生涯学習
施設としての博物館のあり方を学べまし
た。博物館実習は博物館というものをま
た別の視点から見るチャンスでもあるの
だと思います。

実習スケジュール

実習期間:2017年8月8日(火)~11月5日(日)
実習日数:5日間 実習地:三重県

	9:00 - 12:00	13:00 - 17:00
1日目	博物館についての講義	館内設備・収蔵庫の見学 寄贈標本整理とラベルづくり
2日目	館敷地内フィールドの昆虫の調査と採集 博物館の調査研究・学習支援活動の見学	採集した昆虫の標本づくり 博物館の調査・研究・学習支援活動の見学
3日目	博物館行事「親子で標本づくりにチャレンジ!」の補助 館敷地内フィールドに生息する昆虫の観察と採集	博物館行事「親子で標本づくりにチャレンジ!」の補助 採取した昆虫の標本とラベルを作成
4日目	翌日に行われる博物館行事の準備 寄贈標本の調査・選別	寄贈標本の整理とラベル作成
5日目	博物館行事「おとなのためのコケ講座」の補助 館敷地内フィールドに自生するコケの観察と採集	博物館行事「おとなのためのコケ講座」の補助 採集したコケの顕微鏡での観察

生物資源学部 海洋生物資源学科

1年 / 女性

飼育実習(長期インターンシップ)



Acceptance company and group

神戸市立 須磨海浜水族園

専門・技術サービス業

theme

博物館相当施設である
水族館において、イルカ・海獣類の
飼育管理、トレーニングについて
目的意識を持って学ぶ。

Outline of practical training

海獣類(主にイルカ・アザラシ・ペンギン)の飼育について、健康管理やトレーニングの補助業務(清掃、餌の準備、環境チェック、生物観察等)を実施する。行動心理学の観点から動物のトレーニングについての知見を深める。また、イベント時の接客やアンケートの集約作業等、飼育員が実施する作業全般について幅広く学習する。

comment

「飼育員になりたい」と水族館での実習を希望される方は多くいらっしゃいます。動物の飼育補助作業を通じて、これまで遊びに来る対象であった水族館の見方は大きく変わったと思います。「教育」・「種の保存」・「調査研究」・「レクリエーション」といった水族館が果たすべき役割、それを果たすために職員はお客様や動物とどう向き合っているのか、魅力的な展示をつくり上げるためには何が必要なのか、実習を通じて深く考える機会を得たと確信しています。この1か月間で得た経験は、これから向き合うべき課題解決に大いに役立つと思います。



実習中に得られたこと

今回の実習には、4年次に行う研究の参考にするのと、普段経験することのできない飼育員の仕事を体験することにより、さらに自身の視野を広げることを目的として参加させて頂きました。実習では、今までに知ることのできなかった、担当した生物に関する知識を身につけることができました。また、現場で働く飼育員の方々の飼育生物に対する思いも知ることができ、非常に貴重な経験をさせて頂くことができました。イベントの手伝いを通して、お客さんへの対応の難しさも実感することができました。

実習を経て新たに発見できたこと

9月20日に参加した課外教育活動において、地元のボランティアの方々や地元の小学生と共に磯の観察を行い、交流することで様々な海洋生物の種類やそれに関する知識について学びました。これまでに磯の生物にあまり触れることがなく、小学生に質問をされても答えることができませんでした。このことから、今回担当した海生哺乳類以外にも様々な海洋生物について学んでみたいと思うようになり、新しい自分を見つけることができたとと思います。

■ 実習スケジュール

実習期間:2017年8月27日(日)～9月27日(水)
実習日数:32日間 実習地:兵庫県

	AM	PM
①海獣チーム(8月27日～9月11日)	初日 全体朝礼にて自己紹介、作業着・長靴に着替え、飼育現場へ、ペンギン飼育エリアの清掃(陸上エリアをデッキブラシで清掃、プール内の残餌回収)、気温・水温等の計測手順の理解、アザラシの給餌見学、午前中使用したバケツ類の洗浄、昼休み(作業手順について質疑応答)、イベント「ペンギンの餌やり体験」見学 終盤 作業着・長靴に着替え、ペンギン飼育エリアの清掃、気温・水温等の計測、ペンギンの給餌見学、摂餌量のチェック、アザラシの給餌見学、トレーニングの補助、午前中使用したバケツ類の洗浄、昼休み(トレーニングについて質疑応答)、イベント「ペンギンの餌やり体験」時の参加者待機列の整理、案内	餌やりカップの洗浄、後片付け、イベント「アザラシにタッチ」待機列整理のための柵準備、イベント「アザラシにタッチ」の見学、ペンギン飼育エリアの清掃、気温・水温等の計測、ペンギンの餌やり体験見学、飼育データのPC打込み方法の確認と実践、バケツ関係の洗浄、海獣類の残餌回収、ゴミ捨て、チーム内タ札にて動物の状態確認、質疑応答 餌やりカップの洗浄、後片付け、イベント「アザラシにタッチ」待機列整理のための柵準備、イベント「アザラシにタッチ」時の参加者待機列の整理、案内、ペンギン飼育エリアの清掃、気温・水温等の計測、ペンギンに関する調査補助、お客様からの疑問募集アンケート用紙の整理、飼育データのPC打込み、バケツ関係の洗浄、海獣類の残餌回収、ゴミ捨て、チーム内タ札にて動物の状態確認、質疑応答
②イルカチーム(9月12日～9月27日)	初日 作業着・長靴に着替え、イルカプールのステージ清掃手順理解、調餌作業の補助、金属探知機にて餌に異物混入が無いチェック、イルカチーム朝礼、当日の検査や健康状態の確認、イルカの給餌見学、体温測定機器の扱い、消毒方法の理解、調餌室全体の清掃、1回目イルカライブの見学、イルカライブに出演していない個体の給餌見学、午前中使用したバケツ類の洗浄 終盤 作業着・長靴に着替え、イルカプールのステージ清掃、調餌作業の補助、金属探知機にて餌に異物混入が無いチェック、イルカチーム朝礼、当日の検査や健康状態の確認、イルカの給餌見学、体温測定作業の補助、調餌室全体の清掃、1回目イルカライブの見学、飼育員と一緒にイルカライブで使用する小道具を作成、午前中使用したバケツ類の洗浄	2回目イルカライブの見学、昼休み(作業手順について質疑応答)、3回目イルカライブの見学、イベント「イルカにタッチ」の見学、気温・水温・残留塩素濃度・透明度等の飼育環境チェック法の理解と実践、4回目イルカライブの見学、イルカライブに出演していない個体の給餌見学、トレーニング補助、使用したバケツの洗浄、調餌室の清掃、チーム内タ札にて動物の状態確認、質疑応答 2回目イルカライブの見学、昼休み(トレーニングについて質疑応答)、3回目イルカライブの見学、イベント「イルカにタッチ」時の参加者の誘導、気温・水温・残留塩素濃度・透明度等の飼育環境チェック実施、データのPC打込み、4回目イルカライブの見学、イルカライブに出演していない個体の給餌見学、トレーニング補助、使用したバケツの洗浄、調餌室の清掃、チーム内タ札にて動物の状態確認、質疑応答

生物資源学部 共生環境学科

3年 / 男性

生物資源学インターンシップ(教職インターンシップ)
教育実習



Acceptance company and group

三重県立 久居農林高等学校

教育機関

theme

教職課程履修3年生を対象に、
教育実習では経験できない
校務分掌および担当教科以外の
教科指導を体験する。

Outline of practical training

教科指導、担任業務、校務分掌、学校行事等、教師の仕事全般を体験しながら、学校現場における教師の日常を知り、やりがいを見出す。具体的には、チーム・ティーチングやジョブシャドウイングの手法を用いて教育現場を経験する。その中で多くの生徒や教員と関わることで、学生が自分自身の教師としての適性や使命感を体感する。

comment

教員免許を取得するだけなら4年の教育実習だけでいいのですが、3年生の貴重な夏休みを削ってでも教育現場をみてやろうという意欲は素晴らしいと思います。教育実習では担当科目やHRは限定されたものになりますが、インターンシップでは幅広く教師の仕事を体験されたので、教員になるための意欲がますます強くなったように感じます。特に、英語で研究発表する生徒の練習に参加していただいたときには、非常に鋭く適切なアドバイスをされていたので感心しました。将来、素晴らしい教師になられることを期待しています。



実習中に得られたこと

農業科で先生になった場合、自分の専門以外の専門もできないといけない(例えば自分は農業土木が専門だが、畜産や園芸も教えることができるようにならないといけない)ということを農場での実習で特に実感した。なかでも土木の先生は植物が専門だったのにも関わらず、エンジンの組み立てでもしており勉強されたのだらうなと感じた。座学だけで先生でなくしっかり経験を積み、専門以外の科目の実習の動物の管理・園芸・作物の栽培・木工も勉強し、もちろん専門である測量もこなしていけたらと思った。

実習を経て新たに発見できたこと

今回久居農林高校でのインターンシップを終えたが、普段の教員の仕事を見学・体験させていただき、授業をすることだけが教員の仕事ではないということに改めて学んだ。授業以外では、プリントアウトや資料作成の他にも、総務・教務など校務の役割があたりまえ、学校のための仕事をこなしていかなければならない事を実感した。また行事などを担当することになった場合、行事の全体像の把握が必要になり、他の先生との連携が必要不可欠であるということも学んだ。

実習スケジュール

実習期間:2016年9月20日(火)~9月30日(金)
実習日数:8日間 実習地:三重県

	AM	PM
1日目	ガイダンス(校長・教頭、教務部)	⑤保健部、⑥保健部、放課後:保健部
2日目	①環境保全コース、②環境保全コース ③植物コース、④植物コース	⑤国語科、⑥国語科、放課後:生徒指導部
3日目	①土木・機械コース、②土木・機械コース ③数学科、④数学科	⑤保健部、⑥保健部、放課後:保健部
4日目	①生活デザイン科、②生活デザイン科 ③理科、④理科	⑤動物コース、⑥動物コース、放課後:動物コース
5日目	①食品コース、②食品コース ③進路指導部、④進路指導部	⑤英語科、⑥芸術科、放課後:英語科
6日目	①生活デザイン科、②生活デザイン科 ③地歴公民科、④地歴公民科	⑤生徒指導部、⑥生徒指導部、放課後:教頭
7日目	①ガーデニングコース、②ガーデニングコース ③総務部、④総務部	⑤体育祭、生徒会・体育科
8日目	体育祭、生徒会・体育科	体育祭、生徒会・体育科、放課後:振り返り(校長・教頭)

生物資源学部 共生環境学科

4年 / 男性

教育実習



Acceptance company
and group

和歌山県立 向陽高等学校

教育機関

theme

実際の高校の教育現場でしか
体験できないことを、
「教師」という立場で学び、
自らの能力を高める。

Outline of practical training

生徒の前で授業をするための教材研究や
予備実験、それを踏まえての実際の授業
が主になりますが、その他、ホームルーム
活動、部活動への参加、現役教員の授業
見学等も行います。「生徒」ではなく「教
師」という立場になることで、今までとは
違った多くの発見や困難また感動と出会
います。2週間という短い期間ですが、
日々、生徒とともに学び成長することがで
きます。

comment

実直な人柄が、言葉遣いをはじめ実習態
度全般にわたってみることができました。
毎日遅くまで教材研究をし、休日にはクラ
ブ指導にも参加するなど、常に全力で取
り組んでいました。その実直さや勤勉さ
はあなたの才能であり、生徒に前向きな
影響を与えたと確信しています。様々な
生徒がいるからこそ様々なタイプの教師
も必要です。今後、あなたが自らの才能を
しっかりと自覚し、それを最大限に発揮
できる場所を見つけられることを望んで
います。



実習中に得られたこと

教育実習では、実際の教育現場で働くこ
とで、教師の仕事を体験することが出来
ます。そのため、自分が教師に向いてい
るのか、向いていないのか、生徒たちと
触れ合ってやりがいを感じるのか、それ
が苦痛だと思うのかを、職業を選択する
前に自分と向き合い、考えることが出来
る絶好の機会であるといえます。また、
人に何かを教えることの大変さ、わかり
やすく伝えることの難しさを知ることが
出来ました。その他にも、活気あふれる
高校生に負けないように生き生きと頑
張ろうと思わせてもらいました。

実習を経て新たに発見できたこと

働くことの大変さを痛感することが出来
ました。教育実習中は授業の計画や準
備、部活指導、ホームルーム担当等、本当
に忙しかったです。しかし、そんな私たち
よりも、指導していただいた先生の方が
忙しくしていました。朝礼から授業準備、
会議、出張、電話対応など、休憩してい
る時間は全くありませんでした。お昼休み
は生徒の対応で食べる時間もないとい
った様子でした。部活指導の後は、私
たち教育実習生の指導にまわっていまし
た。ここから、私は働くことの大変さ、社
会に出ることの厳しさを感じることが
出来ました。

実習スケジュール

実習期間：2017年5月22日(月)～6月2日(金)
実習日数：10日間 実習地：和歌山県

1	教育実習オリエンテーション
2	教育実習生挨拶、授業見学、授業計画・準備
3	授業見学、授業計画・準備、指導案作成
4	授業見学、授業計画・準備、指導案作成
5	授業見学、授業計画・準備、授業、指導案作成、部活指導
6	授業見学、授業計画・準備、授業、指導案作成、部活指導
7	授業見学、授業計画・準備、授業、指導案作成、部活指導
8	授業見学、授業計画・準備、授業、指導案作成、部活指導
9	授業、授業見学、授業計画・準備、研究授業の資料作成
10	授業、授業見学、授業計画・準備、研究授業の資料作成
11	授業見学、研究授業
12	授業見学、事後のまとめ

教育学部 数学教育専攻

1年 / 5名

教育実地研究基礎



Acceptance company
and group

津市立栗真小学校

教育機関

theme

授業参観

学習サポート

学校行事(運動会等)への参加

Outline of practical training

「教育実地研究基礎」は、学生の教職に対する動機を高めるために、2008年度から教育学部で必修化された授業である。数学教育専攻の学生が参画するそれは、学生自らが地域の小学校に毎週1回通い、児童の学習支援と教員の指導補助を行うことにより、児童理解・学校理解を深める取り組みである。学生は、実際の教育現場で様々な教育課題に直面し、学校の先生方と連携・協働しつつあらゆる教育活動に参加させてもらっている。

comment

～教育実地研究基礎の成果について～

- ・ 学生が、子どもや学校職員の実状を観察することを通して、教職員の任務や役割について、より理解を深める機会を提供できている。
- ・ 授業の中での学生による子どもたちへの教育的支援が、担任を補助する役割を果たしている。
- ・ 大学生と身近に交流することで、栗真小学校の子どもたちが、自身の進路を考える上での選択肢のひとつとして感じ取ることができた。



実習期間:毎週1回(2時間) 実習日数:年間約25回

実習中に得られたこと、発見したこと

主に、算数の授業でサポートに入っていますが、1枚の黒板でまとめた板書は私たちの大学での授業の参考にさせてもらえます。その他、毎回吸収させてもらえることが多いです。今では何気なく計算をしている足し算や引き算も、教卓で道具を使ってみんなに見せ、工夫して数えることを学んだりもして、どうしたらわかりやすく理解してもらえるのかなどを考える機会となりました。国語や生活などの授業も見て、先生方が教えておられる様子も学ばせてもらい、子ども達と一緒に、新しい発見もできたりしました。学校行事では、運動会に参加させてもらい、裏側の大変さ、成功したときの喜びを感じるとともに、児童が頑張る一面と出会いました。これからも、栗真小学校で学んだこと、吸収したことを、先生になるための学びに生かしていきたいと思います。

学生コメント

栗真小学校は、1学年に1クラスの少人数数学級となっているので、様々な学年を担当し、経験させてもらっています。児童同士の仲もよく、私たちにも温かく接してくれて「先生になりたい」という気持ちをより強くしてくれます。また、先生方も1人1人のことをよく見ていて、その指導から私たちが学ばせてもらうことはたくさんあります。一緒に問題を考えたり、授業をサポートさせてもらったりしながら、日々親しみを覚えてもらえるようになってきました。



教育学部 数学教育専攻

1年 / 5名

教育実地研究基礎



Acceptance company
and group

津市立白塚小学校

教育機関

theme

小学校授業参観

児童の学習支援

教員の指導補助

学校行事(運動会等)への参加

Outline of practical training

教育学部のカリキュラムには教育実習以外にも、教育実地研究基礎・教育実地研究・教職実践演習等、学生が実際の教育現場に入り、子どもの実際もしくは教師の仕事の実際に触れて、学生の教職に対する動機付けを高めるための活動を行う科目が設定されている。これらは教員養成コア科目群に属するもので、ここに、地域や学校と大学による密な連携を基盤とした学生インターンシップが構築されている。

comment

数学教育専攻が行う「教育実地研究基礎」の取り組みは、大学での講義・演習では決して学びとることの出来ないリアルな現場体験である。実体験を通して、学生は学校現場の素晴らしさや難しさも体感することが出来、教職への憧憬感と責任感を高めている。これは、時代のニーズにあった教員養成の在り方を体現したものと言える。一方で、現在の小学校現場には、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童や外国人の児童への対応など、一人でも多くのスタッフが必要な状況が存在している。「教育実地研究基礎」による大学生の学校教育への参画は、こうした現場の要請に応えることにもなっている。



実習期間：毎週1回(2時間) 実習日数：年間約25回

実習中に得られたこと、発見したこと

教師は、授業のやり方と準備の方法で、わかりやすい授業、わかりにくい授業、良い授業、あまり良くない授業など、どんな授業にも変えることができるものだと感じました。わかりやすい授業にしようと準備や工夫をしていたのは、子どもたちに理解してもらおうと考え、子どもたちに対して真剣に考えているからだと思います。小学校の先生は、中学・高校・大学の先生と異なり、授業を受ける子どもは勉強の基礎ができていないことを念頭に置かなければなりません。そのため、どの校種よりも大変なのだと思います。良い教師像とは、「子どもとコミュニケーションをとれる教師」「楽しい授業をしてくれる教師」などの意見がよく出されます。しかし、私は「子どもの理解のために、準備・工夫を怠らない教師」が良い教師なのだとすることを痛感しました。一方で、楽しい授業の中にも、盛り上がりすぎたり、ザワザワしたりすると、先生が注意し、授業がスムーズに進行するように促す光景もよく見ます。そういった能力も必要なのだとさらに感じ取ることができました。

学生コメント

教師たるもの、どのような態度で子どもと接するべきなのか、この実地研究を通して学ぶことができました。先生方は、勉強を始めてまだ数年しか経っていない小学生に理解してもらうために、周到に準備をし、授業を行っておられます。授業中先生方は、子どもたちの注意を引くために様々な工夫をされています。図形を扱う授業では、実際にその形をした物を持ってきたり、また別の授業では、子どもが実施する前にいろんな角度から手本を見せることで、動きや、これからすべきことをわかりやすくしておられました。



教育学部 数学教育専攻 3年 / 11名

教育実習および教育実地研究



Acceptance company and group

〈実地研究先〉
津市立一身田中学校

〈教育実習先〉
教育学部附属中学校

教育機関

theme

授業参観

学習サポート

授業補助

学校行事(運動会等)への参加

教育実習(4週間)

Outline of practical training

この教育実地研究は、実際の教育現場で直面する教育課題を知るとともに、学校内における専門スタッフとの連携・協働を学生に体験させることで実体験を通じて学校現場の楽しさや難しさを体感させるために取り入れている、教育学部における学校体験活動(学校インターンシップ)のひとつである。

comment

授業中において、子どもたちに対する学習支援をすることができていた。そのため、教師側は非常に助かった。また、授業を見学するという点で自分たちの立場で考えながら見学することができていたが、見学をする際に「子どもの反応」や「教師の発問の仕方」について視点をもちとより充実した活動になると思う。しかし、授業以外の時間において積極的に関わっている姿が見られたのでこの意識を継続してほしい。



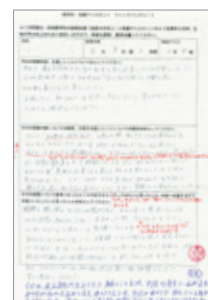
実地研究先実習期間:毎週1回(2時間)、実習日数:年間約25回
教育実習実習期間:2017年9月4日(月)~9月29日(金)、実習日数:4週間

教育実地研究で得られたこと

私達は4月から教育実地研究で一身田中学校の数学の授業を参観させていただいている。前期の間は主に中学1年生を、後期の間は主に中学2年生の授業を参観している。前期と後期で大きく自分の中で変わったと感じる点は、参観するときに着目する点だ。前期の間は、現役の先生方の授業を参観する意味・意図を理解できておらず、自分も生徒と同じように授業を受ける側の立場としてしか授業を見ることができていなかったため、「授業の内容がどんなものか」「生徒はどのようなところを苦手だと感じるのか」の2点にしか目が行かなかった。しかし教育実習を経験した後では、自分が授業をするようになった時のための、授業をする側としての視点をもって参観することが必要であることに気が付いた。すると、目を付ける点も、先生の言葉がけや発問の仕方、机間指導や目の配り方、数学を苦手とする生徒にどのようにかかわっているかなど、授業をする側の動向に変わっていった。実地研究はあと10回ほどあるが、さらに沢山のことを吸収していきたい。

教育実地研究と教育実習で得られたこと

教育実習に行く前は授業をただ漠然とみていただけでした。しかし、教育実習を終えてからは、先生の授業での発問やそれに対する生徒たちの反応、板書などにも着目して、参考にしたいことや自分が同じ単元を授業するならどのように授業するかを考えながら、授業を参観しています。実習先が附属中学校だったことで、授業の展開や生徒の反応における公立の中学校との違いもみることができ、その地域、学校、生徒の実態に合わせた授業づくりが必要であることを改めて実感しました。その一方で、生徒の反応や生徒へのアプローチにおいて共通する部分もたくさんあることに気づかされました。様々な現場をみることによって、たくさんの新しい発見につながり、今後教師として働く際の経験の手助けになると思います。



教育学部 数学教育専攻 3年 / 11名

教育実習および教育実地研究



Acceptance company and group

〈実地研究先〉 津市立橋北中学校

〈教育実習先〉 教育学部附属中学校

教育機関

theme

授業参観

学習サポート

授業補助

学校行事(運動会等)への参加

教育実習(4週間)

Outline of practical training

この取り組みは、1年次の小学校での教育実地研究基礎の引き継ぎである。3年次では、中学校の数学の授業を対象として、学生が教育現場に入らせてもらい、生徒の学習支援や、教員の教育アシスタント活動を行うことにより、指導者の授業の進め方、生徒とのやり取り、生徒のつまづきへの対応など、現場における教師の授業力について考えさせ、教職への意欲を高めることを目的としている。

comment

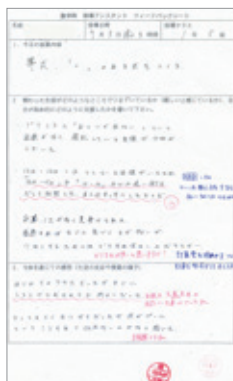
3年次では、9月の4週間の教育実習を挟む。教育実習後には、「授業の構成など、実習前、実習中に発見できなかった様々な工夫がはっきりと見えてくるようになった」「生徒自身に気付かせるような声かけの仕方をするなどの工夫をできるように考えるようになった」「授業の到達目標への意識を常に念頭において授業を見ることができるようになった」など、授業の本質的な部分を意識できるようになっていく。教員養成にとって大切な活動である。



実地研究先実習期間:毎週1回(2時間)、実習日数:年間約25回
教育実習実習期間:2017年9月4日(月)~9月29日(金)、実習日数:4週間

教育実地研究で得られたこと

私が橋北中学校の実地研究に参加させていただき、感じたことは2つあります。1つ目は、教育実習経験前と後での自分の中の変化です。教育実習前は、正直どのような視点で授業を観ていけば良いのかイメージが掴めていませんでした。しかし、教育実習を経験させていただき、授業においてどの部分が大切なのかを肌で感じることができました。その結果、実地研究でも、現場で働かされている先生方の偉大さを感じ、さらに、授業の狙いが鮮明に見えるようになりました。2つ目は、生徒の意見を大切にすることです。私が見学させていただいているクラスはとてもにぎやかで、いろいろな発言が出てきます。そのなかで、とても良い質問がいくつかあります。それを見逃さず、授業に関連付けさせていくことができれば良いのではないかと感じました。実際に授業を見てみると、現場の先生方は、その部分を簡単にこなしているように見えました。教育実習で、実際に自分が授業をした時は、それが全くできていませんでした。生徒を一番に考えて授業を展開できるような教師を目指していく必要があるとわかりました。今回、橋北中学校の実地研究に参加させていただき、学んだことを、次のステップにも活かしていきたいです。



教育実地研究と教育実習で得られたこと

私が橋北中学校に実地研究に行って思ったことは、自分の受けてきた中学校の授業とは全く形が違うということである。私自身が受けてきたのは、教師が説明をして問題を出して生徒が答えるという形であった。しかし、橋北中学校の授業形態は、教師がプリントを配布して生徒が班で解くという形であった。班で活動させればお互いに教えあうことにより知識の定着もできるが、一番の利点は応用力をつけることにあるのかなと感じた。実際現在の生徒が大学受験をするときには「書く力」が求められていて、その練習になっているように思う。その中で私ができることは、教育実習で学んだ机間指導を生かすことである。特に、全体を見渡したときに手が止まっている生徒にすぐに駆けつけたい。そのときいかに生徒の目線に立てるかということは教育現場でしか体験できないことであるので、多くの生徒と関わってみたいと思う。教育実地研究で生徒と関わって思ったことは、出来る子、出来ない子ではなく、取り組める子、取り組めない子がいるということだった。具体的には、取り組めない子というのは、全くすることがわからない、話を聞いていないという生徒や、やっても出来なくてやめてしまった子などである。そのような生徒へどのような支援ができるのかを考えたい。例えば、その子が取り組めるように隣に座ってみたりすると班の子に何をしたらいいのと聞く生徒が多い。班活動にしているが故にやらない子が増えてしまっているのかなとも感じた。私はこの教育実地研究で全員が参加できる、参加しやすい授業とはなにか考えて生徒たちと関わっていききたい。

インターンシップについてのご案内

キャリア支援センターではインターンシップのマッチングを行っております。企業・団体様には本学学生をぜひ受け入れていただきますようお願いいたします。インターンシップガイドの一部をご紹介します。

学生のみなさんは「インターンシップガイド2018」学生用を新年度4月以降に配布しますので、熟読し理解した上で、インターンシップに臨んでください。

インターンシップガイド(冊子)



企業・団体様用



学生用

学生誓約書フォーム

学生

誓約書

私は、貴校においてインターンシップ実習を行うにあたり、下記の条件に賛同することを表明します。

1. 2. 3. 4.

氏名 学号

学年 学部 学科

氏名 学号

学年 学部 学科

覚書

インターンシップに関する覚書

1. 2. 3. 4.

氏名 学号

学年 学部 学科

氏名 学号

学年 学部 学科

インターンシップに関する覚書(学生用)

1. 2. 3. 4.

氏名 学号

学年 学部 学科

氏名 学号

学年 学部 学科

修了証明書

インターンシップ修了証明書

1. 2. 3. 4.

氏名 学号

学年 学部 学科

氏名 学号

学年 学部 学科



インターンシップ

各種研修会について

キャリア支援センターでは、毎年インターンシップ実習前の指導として、事前研修会を開催しております。インターンシップ参加への目的意識、心構えを習得します。また実習後には、事後研修会を開き、実習した経験をふまえ今後の学生生活にどう活かすかグループワークを実施します。

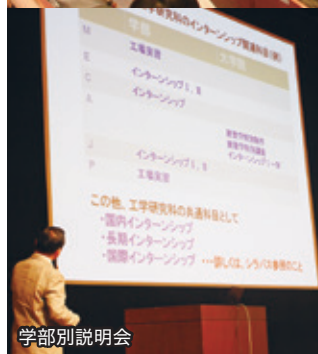
事前研修会

2017年5月13日(土)

説明会・事前説明会およびセミナーの様子



インターンシップ説明会・事前研修会



学部別説明会



インターンシップセミナー

事後研修会

2017年10月18日(水)

事後研修会および秋冬インターンシップ説明会の様子



インターンシップ事後研修会



グループワークの様子

秋冬インターンシップ説明会

[発行] 平成30年1月

国立大学法人



三重大学

三重大学におけるインターンシップ
ー 多様な取組の紹介 ー

三重大学キャリア支援センター 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 TEL:059-231-9810
<http://www.mie-u.ac.jp/employment/>

